

「働いて生きていきたい障がい者のための生活支援について、彼らが望むグループホームの在り方」

ニーズ調査 結果報告書

企業による障がい者雇用連携ネットワーク会

公益財団法人 トヨタ財団
2016年度 社会コミュニケーションプログラム
による助成を受けています。

調査実施概要

1. 調査の目的 : 近年、企業に雇用される「働く障がい者」の数は増加を続けている。しかし、その彼らの高齢化や親亡きあとの就労継続を支える生活支援に伴う課題への対策や準備は、決して十分とは言えない。働く障がい者本人やその家族の生活状況、グループホームに対する認知理解度、長く良い就労継続をするために望む生活支援の在り方を探り、その内容を反映させた、障がい者が安心して働き続けるために必要な、生活支援を核とした地域生活拠点創出プロジェクトを構築する。
2. 調査実施方法 :
 - ①公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会を通じて配布
 - ②企業による障がい者雇用連携ネットワーク会による回収
3. 調査実施時期 : 平成29年10月～12月
4. 調査回収件数
 - ①家族アンケート : 3,188人に配布、1,023人回収 (回収率32.0%)
 - ②本人アンケート : 3,188人に配布、1,311人回収 (回収率41.1%)
うち、グループホーム現在入居者、入居経験者 : 306人、入居未経験者 : 1005人
5. 主な調査内容
 - ①家族アンケート
 - 問1 現在のご本人の生活状況 (自立状況)
 - 問2 家族にとっての生活支援の負担度
 - 問3 負担に思うこと (自由回答)
 - 問4 本人にどの程度の自立を望むか
 - 問5 将来、本人について不安に思うこと (自由回答)
 - 問6 親の高齢化など、家族の支援が困難になった時に望む支援
 - 問7、8 将来共同生活や施設入所を望まない理由、望む理由
 - 問9 グループホームについての認知
 - 問10～12 (グループホーム現在入居者に) 入居までの待機期間やその感想
 - 問13 (グループホーム現在非入居者に) グループホーム入居経験や検討の有無
 - 問14 (グループホーム入居経験者に) 現在グループホームに住んでいない理由
 - 問15 (グループホーム入居検討経験者に) 検討後、入居していない理由

- 問 16 (グループホーム入居未経験者に) 検討したことがない理由
- 問 17 (グループホーム非入居者に) 今後の検討予定
- 問 18 (将来検討者に) 将来入居を検討する時期
- 問 19~20 グループホーム生活サポートへの希望、特に希望すること(自由回答)
- 問 20 グループホームにおける専有スペース、共有スペースについて
- 問 21 グループホーム入居者の交流についての希望
- 問 22 グループホームやアンケートについての感想(自由回答)

②本人アンケート

- 問 1~10 属性(性別、障がいの種類、障がい等級、就労状況、勤務年数、交通手段、収入、障害基礎年金受給の有無)
- 問 11 困ったときに相談するところ
- 問 12 将来の生活への不安
(入居未経験者)
- 問 13 グループホームの認知
- 問 14 グループホームに入居していない理由
- 問 15~20 グループホームで手伝ってほしいこと、自分でやりたいこと
- 問 21~25 グループホーム内の専有、共有部分の使い分けについての希望
- 問 26 グループホームでの交流についての希望
- 問 27 グループホームでの約束やルールについて
- 問 28 仕事での悩みや困ったことについての相談相手
- 問 29 グループホームについての感想、アンケートについての感想
(入居者、入居経験者)
- 問 13 グループホームについての感想
- 問 14, 15 グループホームの良いところ、嫌なところ
- 問 16~21 グループホームで手伝ってもらっていること、自分でしていること
- 問 22~26 グループホーム内の専有、共有部分の使い分けについての希望
- 問 27 グループホームでの交流についての希望
- 問 28 グループホームでの約束やルールについて
- 問 29 仕事での悩みや困ったことについての相談相手
- 問 30 グループホームについての感想、アンケートについての感想

調査結果の概要

《ご家族アンケート》

1. 生活自立状況

～ “基本的な生活管理” “時間管理” “規則・規律の順守” は “できる” が “金銭管理” “他人との意思疎通” “健康管理” の自立性に不安が大きい～

「ご本人の生活状況をお知らせ下さい」の質問に対し、「完全に」と「ほぼ」を足した『自立度』では、「起床、食事、就寝など基本生活の時間管理」(85.6%)、「出勤、始業時間等社会生活上の時間管理」(85.6%)、「食事、身だしなみ、入浴、排せつなどの基本的な生活管理」(82.1%)、「職場や共同生活の規則や規律を守ることができる」(79.6%)が8割程度またはそれ以上となっている。一方で、自立度が低いのは、「自分のお金の管理」(44.4%)であり、半数以上が“介助を必要とする”と回答している。これに次いでいるのが「家族以外の人に自分の気持ちや希望を伝えたり、相手の気持ちや言いたいことを理解することが出来る」(51.7%)、「体や心の健康を管理する、体調が悪い時に、病院に行ったり決められたように薬を飲む」(55.6%)である。

グループホームへの入居を現在検討している家族（以降「入居現在検討者」）の評価が、全体平均と比べて特に低いのは、「家族に気持ちを伝えたり、言いたいことを理解する」(-22.1%)、「家族以外の人に気持ちを伝えたり、言いたいことを理解する」(-22.3%)である。

2. 家族にとっての生活支援負担度

～ グループホーム入居現在検討者の半数強が“負担あり”と回答～

家族にとっての生活支援の負担度を見ると、「かなり負担がある」(3.4%)、「やや負担がある」(32.0%)を合わせ“負担がある”と回答している割合は35.4%である。

「入居現在検討者」では“負担度”が52.1%と半数を超えている。

3. 負担に思うこと

～ 金銭管理、生活管理と並んで意思疎通の難しさに関連する項目が上位にあがっている～

「負担に思うこと」(自由回答、回答者数 317 人)を複数回答式にキーワード分類した結果では、1位「意思伝達、コミュニケーション」(66人)、2位「お金の管理」(63人)、3位「日常的な生活の管理(入浴、衛生管理など)」(46人)が上位にあがっている。また、8位「情緒不安定、パニック」(32人)、11位「こだわりが強い」(21人)、12位「社会生活への参加や集団内での同調がむずかしい」(18人)などを含めた意思疎通の難しさと、金銭、時間、健康などの生活管理の困難が結びついている例も自由回答の中に多く見られる。

4. 本人の生活自立に対する希望

～ 「家族支援に負担がある」層の4割強はグループホームでの生活、又は外部サービスを受けながらの単身生活を希望している～

「本人の生活自立に向けての希望」は、全体では「在宅で親族の支援を受けながらの生活」(44.4%)

が最も多く、「グループホームなど支援を受けながらの共同生活」(24.7%)がこれに続いている。

これを家族負担度別に見ると、「負担あり」層は、「グループホームなど支援を受けながらの共同生活」(34.3%)、「在宅で外部サービスを受けながら親族と同居」(17.1%)と回答する割合が51.4%と高い。また、「グループホームなど支援を受けながらの共同生活」(34.3%)と「外部サービスを受けながら単身生活」(7.5%)を合わせた“在宅外での自立”を希望する割合が41.8%と「負担なし」層に比べて高い。

グループホームの検討度別に見ると、「現在入居者」では8割以上が継続を希望しており、「入居現在検討者」では58.0%と過半数以上がグループホームでの生活を希望している。

5. 将来の本人について不安に思うこと

～ “親の高齢化などで家族支援ができなくなった時”の不安が49.9%と高い。具体的には“金銭管理に関する不安”が最も多い～

自由回答記入者(647人)中、49.9%にあたる323人が「親が高齢化したりいなくなった時、1人になった時」の不安を抱えている。具体的には「金銭面、お金の管理」(123人、19.0%)が最も多くあがっているが、「グループホームや外部サービスを受けることへの不安」(きちんと支援してもらえるか、入居できるか、本人が望むか、共同生活ができるかなど)への不安も83人、12.8%と多く見られる。

6. 親の高齢化など家族の支援が困難になったときに望む支援

～ グループホーム入居希望率は46.8%。「外部サービスを受けながら単身生活」を合わせると約6割が在宅以外での支援を希望～

「親の高齢化など、家庭の事情で経済的・生活面で支援が困難になった時に望む支援」に対しては、「グループホームなど支援を受けながらの共同生活」(46.8%)が最も多く、「外部サービスを受けながら単身生活」(13.2%)を合わせると在宅以外での支援を望む割合が60.0%を占めている。

家族負担度別に見ると、「負担あり」層のグループホーム希望率は56.6%と半数を超えている。また、「負担なし」層でも、グループホーム入所希望率は41.5%と「在宅で外部サービスを受けながら親族と同居」(31.9%)を上回っている。

7. 本人に共同生活や入所を望まない理由

～ 「本人が望まない」「共同生活が難しい」が主な要因。負担がある人やグループホーム現在検討者が“望まない”理由には「経済的負担」「グループホームをよく知らない」「施設入居への不安」が強い～

「ご本人に共同生活や施設入所を望まない理由」に対する回答として上位にあがるのは、1位「本人が望まないと思う」(50.2%)、2位「他人との共同生活が難しいと思う」(27.8%)、3位「グループホーム・施設のことをよく知らない」(23.8%)である。

「入居現在検討者」は、「入居準備費や入居中費用(家賃や食費)などが高いと思う」(31.6%)、「施設に入居させるのは不安」(42.1%)、「グループホーム・施設のことをよく知らない」(36.8%)、「他人との共同生活が難しいと思う」(38.8%)をあげる割合が全体平均に比べて高い。

8. 本人に共同生活や入所を望む理由

～ 「共同生活が安心」「日常的に専門的なサポート」など『安心感』が上位にあがる ～

「ご本人に共同生活や施設入所を望む理由」の上位にあがるのは、「1人暮らしより共同生活の方が安心」（70.1%）、「日常的に専門的なサポートが受けられる」（59.8%）、「将来は在宅でサポートできる親族がいない」（40.2%）である。

グループホーム入居検討状況別に見ると、「現在入居者」は、「1人暮らしより生活費が安い」（22.9%）、「家族に負担がかからない」（25.3%）、「入居現在検討者」は「日常的に専門的なサポートが受けられる」（73.5%）をあげる割合が、「将来検討者」は「1人暮らしより共同生活の方が安心」（73.0%）をあげる割合が他層に比べて高い。

9. グループホームの認知と入居経験

～ グループホームについて「概要は知っているが具体的に知らない」人が4割強と最も多い ～

グループホームの認知・理解度を見ると、「現在入居中」が9.1%（93人）、「具体的な内容について知っている（未入居）」（14.5%）、「どういう施設かは知っているが、具体的な施設については知らない」（43.1%）、「グループホームという名前を聞いたことがある程度」（22.2%）であり、「概要は知っているが具体的には知らない人」が4割を超えている。

10. グループホームへの入居経験や検討

～ 家族の支援に負担を感じる人の半数強は“入居経験または検討経験あり” ～

グループホームの入居経験者は2.3%、入居検討経験率は35.4%である。

入居経験又は入居検討経験率を家族負担度別に見ると、「負担あり」層は52.5%と半数強にのぼっている。

グループホーム入居経験者が“現在住んでいない理由”では、「自宅の方が暮らしやすかった」が最も多く、「自宅や家族の家から遠かった」「障害の状況が共同生活に合わなかった」がこれに次いでいる。

11. グループホームへの入居を検討後、入居していない理由

～ 「入居現在検討者」が過去に検討後、入居していない理由は1位「空きがない」が半数、「自宅や家族の家から遠い」が2割 ～

過去にグループホームへの入居を検討したが、今は入居していない理由の上位にあがるのは、1位「検討の結果、自宅生活の方がよい」（28.9%）、2位「空きがない」（22.2%）、3位「まだ先でよい、急がない」（19.1%）である。この中で、「現在入居検討者」では、「空きがない」（47.5%）、「自宅や家族の家から遠い」（21.8%）が上位にあがっている。

12. グループホームへの入居を検討したことがない理由

～ 「家族が支援可能」に次いで「どんなところか情報がなく検討しにくい」があがる ～

グループホームへの入居を検討したことがない理由としては、「家族が助けることで生活ができる」（69.8%）が圧倒的に高く、「どんなところか、情報がなく検討しにくい」（27.3%）がこれに続いている。

る。

「入居現在検討者」は、「どんなところか、情報がなく検討しにくい」(36.4%)、「他の人と一緒に住む事がむずかしい」(27.3%)、「空きがないから入れないと諦めている」(9.1%)をあげる割合が他層に比べて高い。

1.3. グループホームへの入居検討

～ 家族支援に負担を感じている層の2割弱が“いま、入居を検討中”～

今後、ご本人のグループホームへの入居を検討する予定について聞いた回答では「現在入居待ち」(1.7%)「希望に合うグループホームがあればいまでも検討する」(11.1%)と、「入居現在検討者」は12.8%。「今は検討しないが将来は検討する」(45.1%)、「わからない」(34.2%)が約8割であり、明確な意志決定ができない人が多い。

家族負担度別に見ると、「負担あり」層では、「現在具体的に検討して、入居を待っている」(2.4%)、「希望に合うグループホームがあれば、いまでも検討する」(16.2%)を合わせて約2割の人が具体的な入居意向を示している。

「将来入居を検討する」人の検討時期としては、「自分や家族が病気や高齢化などにより助けが難しくなった時」(74.2%)が最も多い。

1.4. グループホームに期待するサービス

～ 「調理」「お金の管理」「外出支援」を希望する割合が高い～

「グループホームで希望するサービス」として、「生活サービス費が追加されても全て介助や手助けをしてほしい」希望が高いのは「調理」(12.3%)、「お金の管理」(11.5%)、「病院など外出の手助け」(9.5%)、「基本生活サービス費の範囲内なるべく介助や見守りをしてほしい」も同様に「調理」(35.8%)、「お金の管理」(25.7%)、「病院など外出の手助け」(23.4%)である。一方で「入浴」は「入居者に任せてほしい」意向が40.2%と高い。

「現在入居検討者」の希望率(「生活サービス費が追加されても全て介助や手助けをしてほしい」＋「基本生活サービス費の範囲内なるべく介助や見守りをしてほしい」)を全体と比較すると、調理(全体との差19.1%)、お金の管理(同20.0%)、「外出の手助け」(同17.7%)へのニーズが特に高い。

1.5. グループホームで特にサポートしてほしいこと

～ 「金銭」「健康」「調理」と並んで、人間関係や精神面の見守りやサポートに関する項目が上位にあがる～

グループホームで特にサポートしてほしいこと(自由回答を複数回答方式にキーワード分類。回答者220人)の中では、「金銭管理」(38人)、「健康管理」(36人)「家事支援や身の周りの世話」(26人)と並んで「人間関係、コミュニケーションのサポート」(37人)、「気づきや見守り、声掛け」(21人)、「自主性や本人の意思の尊重」(20人)、「情緒安定、精神的サポート」(20人)、「傾聴、話しをゆっくり聴く」(17人)など、精神的なサポートや自立性の尊重を求める項目が多くあがっている。

1.6. グループホームのスペース区分や交流についての希望

～ 寝室は専用、食事室と休憩室は共同使用を希望 ～

グループホーム内の専用スペースと共同使用の分かれ方に対する回答では、「寝室」は専有が 78.5% と非常に高く、「1人ずつ交代で使う共有スペース」希望は、「風呂」(49.8%)、「トイレ、洗面所」(38.2%)、「家族等との面会室」(31.9%)、「食事室」(70.9%)、「休憩室」(62.4%)は「同時に共同で使用」を望む割合が高い。

17. グループホームでの交流について思うこと

～ “交流は本人の意思を尊重してほしい” と考える割合が半数近くへのぼる ～

グループホームの入居者全員で食事をする事、全員参加のイベントなどで交流することについての問いに対しては、「交流の内容について、その都度本人の意思を確認してほしい」が 47.0% と半数を占め最も多い。

家族負担度別に見ると、「負担あり」層 (50.6%)、グループホーム検討度別に見ると、「入居現在検討者」(50.4%) では「交流の内容について、その都度本人の意思を確認してほしい」が他層に比べて高い。

18. グループホームやアンケートに答えた感想

「グループホームに対する期待や現在入居者の満足」が 66 人 (回答者 315 人中 21%)、「将来の入居に向けての検討や意識が高まった」(59 人、同 18.7%) が上位にあがる一方で、「よくわからない、もっと知りたい」(54 人、同 17.1%) 「グループホームに対する不安や懸念」(41 人、同 13.0%) がこれに次いでおり、期待と不安が入り混じった回答が多く見られる。

「家族での生活支援に負担を抱える」家族が全体の3割を超えている。この「負担あり」層の34%はグループホームでの共同生活を希望しており、グループホームのニーズは高い。さらに、家族支援が困難になった将来についてはグループホーム希望率が6割近くへのぼり、潜在需要の高さがうかがえる。一方で、現在具体的に入居を考えている割合は「負担あり」層でも2割弱と、潜在需要と顕在需要の間にギャップがある。

グループホーム入居をためらう要因としては、情報不足による、検討材料の乏しさやグループホームに対する様々な不安や懸念が主となっている。主な不安や懸念としては「入居に伴う費用負担」「サービス内容についての不安」「立地条件(自宅や職場に近い場所にあるか)」「本人が共同生活ができるかへの不安」「空きがなく、入居できない」があがる。

グループホームでのサポートとして「金銭管理」「健康管理」「声掛けや会話による人間関係のフォローやメンタル管理」へのニーズが高く見られるが、これは、家族支援における負担要因と傾向が一致しており、家族で限界を感じる日常支援について「専門的なサポート」を求めていることがうかがえる。

《ご本人アンケート》

1. 困った時に相談するところ

～ グループホーム入居未経験者のうち、3割弱が「相談先がない」と回答 ～

困った時に相談するところについて、グループホーム入居者・経験者は、「障害者就業・生活支援センター」(34.3%)、「GH職員、世話人」(21.2%)、「会社、上司、同僚、AB事業所、作業所」(13.7%)をあげる割合が高い。一方、入居未経験者は、「障害者就業・生活支援センター」(29.0%)と並んで「相談するところはない、相談したことがない」が28.9%と多く、全般的に入居経験者に比べて低率である。

2. 将来の生活について不安に思うこと

～ 利用経験の有無にかかわらず「自分ひとりで生活すること」への不安が強い ～

将来の生活について不安に思うことについて、「自分ひとりで生活していくこと」がグループホーム入居者・経験者(44.4%)、未経験者(54.9%)ともに最も高く、「家族がいなくなる(家族が病気になる、年をとる)」がこれに次いでいる(経験者24.5%、未経験者27.2%)。

3. グループホームに対する満足度と良い点・悪い点 <入居者・経験者>

～ 居住満足度は76.5%と高い。満足する点として、部屋の住みやすさ、食事、対人関係についての項目が上位にあがる ～

「グループホームについての感想」として、「とても住みやすい」(37.3%)、「まあ住みやすい」(39.2%)を合算した満足度は76.5%と高い水準にある。

グループホームに住んでいて良いと思う点としては、「自分の部屋が住みやすい」(52.6%)、「職員や世話人の人がやさしい」(50.3%)、「ご飯がおいしい」(47.4%)、「仲の良い人がいる」(46.7%)が上位にあがっている。グループホームに住んでいて良くないと思うこととしては、「一緒に住んでいる人が嫌い」(17.3%)、「自分の自由にできないことが多い」(17.0%)、「家族がいなくて寂しい」(14.7%)が上位にあがっている。

4. グループホームに対する認知と非入居理由 <入居未経験者>

～ グループホームの認知率は10%。“家族と一緒にいたい”が非利用理由 ～

グループホームについて、「よく知っている」割合は10%と低く、「名前を聞いたことがある」が55.5%と半数を超えている。グループホームに住んでいない理由としては、「家族と一緒に居たいから」(62.2%)が中心となっているが、「グループホームのことを知らないから」(31.6%)をあげる割合も3割以上と高い。

5. 手伝ってもらっていること、手伝って欲しいこと

～入居者・経験者に比べて未入居者は「家事や送迎は支援してほしい」「お金の管理は自分でやりたい」という傾向が強い～

入居者・経験者の中で、自立率(全部自分でやっている)が高いのは、「洗濯物」(82.4%)、「掃除や片付け」(65.7%)「送り迎え」(64.7%)であり、一方、被支援率(全部+できない所だけ)が高いのは、

「病院への付き添い、銀行・役所での手続き」(79.5%)、「お金の管理」(69.9%)である。

一方、入居未経験者の自立希望率(全部自分がやりたい)が高いのは、「送り迎え」(48.0%)、「洗濯物」(41.6%)、「お金の管理」(39.3%)の順である。

自立度について、入居者・経験者の実態と未入居者の希望を比較すると、「掃除や片付け」(希望一実態=26.4%)、「洗濯物」(同 38.9%)、「送り迎え」(同 13.3%)については、未経験者希望率の方が“全部または一部手伝ってほしい”割合が高い。一方で、「お金の管理」については未経験者の自立希望率が(39.3%)が入居者・経験者の実態(29.1%)を上回っている。

6. 専用部分と共用部分について

～ 未経験者は浴室、トイレの専用を希望する割合が高い ～

専用部分、共用部分の使い分けについて、「自分専用で使いたい」希望率が高いのは、「家族などとの面会室」(入居者・経験者 39.9%、未経験者 43.0%)である。

未経験者は「お風呂」「トイレ」についての専用希望が経験者に比べて高い。

7. グループホーム内の生活や相談について

約束事やルールを守って生活することについての意識として、入居者・経験者は「みんなで気持ちよく生活するためにルールは必要だと思う」(55.6%)、「決められた約束やルールは全部守りたい」(46.4%)、「自分に合った約束やルールを職員と相談しながら決めたい」(45.1%)と考える割合が高く、未経験者は「みんなで気持ちよく生活するためにルールは必要だと思う」(55.3%)、「自分に合った約束やルールを職員と相談しながら決めたい」(50.5%)、「ひとつひとつみんなで話し合っただけでルールを決めたい」(38.4%)と考える割合が高い。仕事での悩みや困っていることがあった時について、現在利用者、利用経験者は「グループホームの職員に話を聞いて欲しい」(52.6%)と考える割合が高く、未経験者は「家族に話を聞いて欲しい」(47.9%)と考える割合が高い。

8. グループホームについての感想及び質問に答えた感想

《入居者・経験者》

「グループホームへの期待や満足」(48人、48.5%)が「不満」(25人、25.3%)より多い。

《入居未経験者》

「興味を持った、意識が高まった」(53人、16.6%)「グループホームへの期待や満足」(49人、15.4%)と並んで「むずかしい、わからない」(50人、15.7%)「利用したくない」(43人、13.5%)「グループホームに対する不安や懸念」(31人、9.7%)も多くあがっている。

入居未経験者は入居者・経験者に比べて日常的な相談相手に乏しく、将来的な孤立に対する不安が大き一方で、家族同居への希望が強い。背景には「グループホームという共同生活」に対する認知理解が低く、自由回答に見られるように「むずかしそう」「不安や懸念」「利用したくない」という見方も強いことも一因として考えられる。

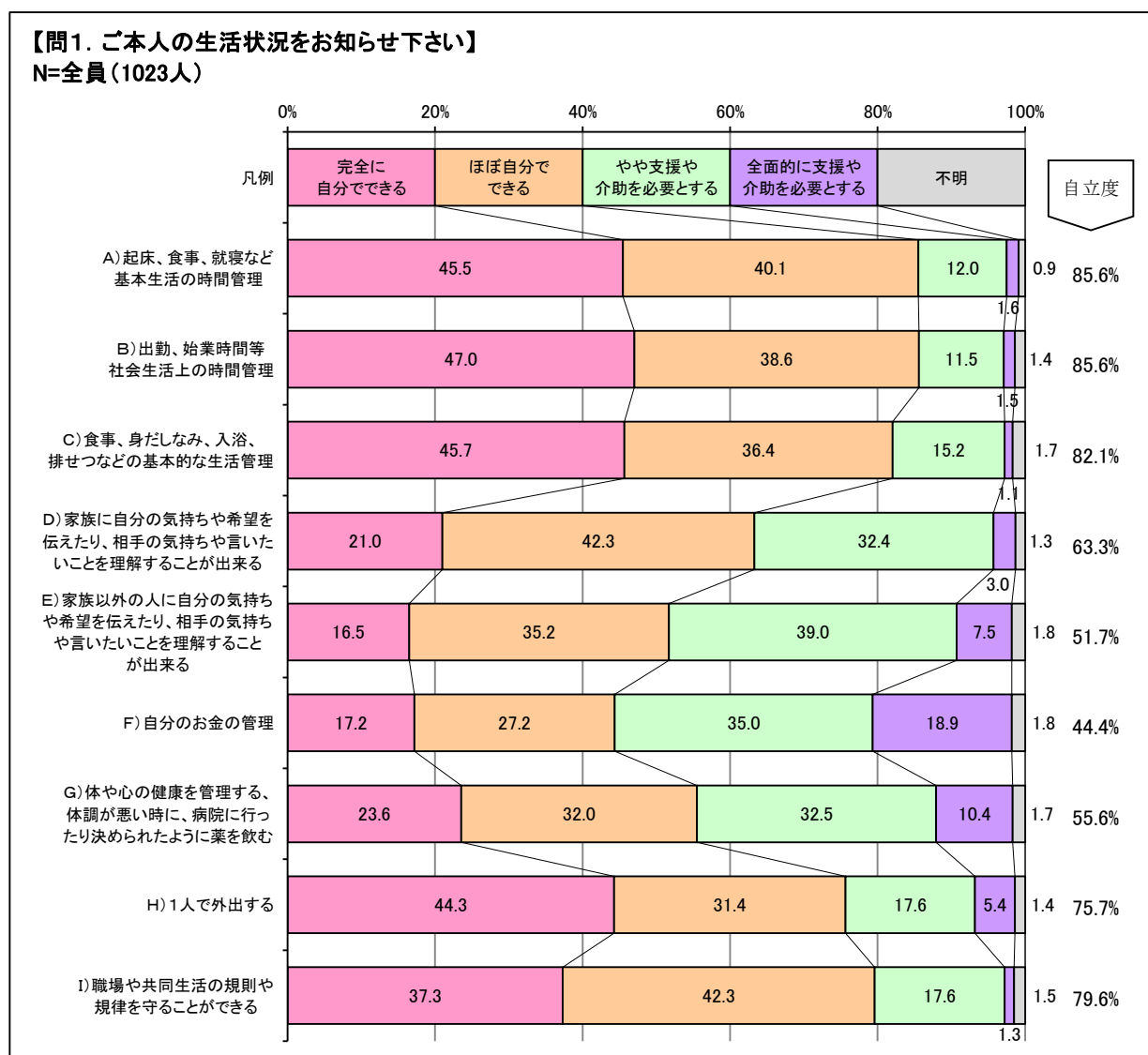
グループホームでのサポートには、「家事は手伝ってほしい、お金は自分の自由にしたい」という意向が見られており、「金銭管理」を強く望む家族との間で意識のギャップも見られる。

ご家族編

1. 生活自立状況

～ “基本的な生活管理” “時間管理” “規則・規律の順守” は “できる” が “金銭管理” “他人との意思疎通” “健康管理” の自立性に不安が大きい～

「ご本人の生活状況をお知らせ下さい」の質問に対し、「完全に自分でできる」回答が多いのは、「出勤、始業時間等社会生活上の時間管理」(47.0%)、「食事、身だしなみ、入浴、排せつなどの基本的な生活管理」(45.7%)、「起床、食事、就寝など基本生活の時間管理」(45.5%)であり、「ほぼ自分でできる」回答が多いのは、「家族に自分の気持ちや希望を伝えたり、相手の気持ちや言いたいことを理解することができる」(42.3%)、「職場や共同生活の規則や規律を守ることができる」(42.3%)である。「完全に」と「ほぼ」を足した『自立度』では、「起床、食事、就寝など基本生活の時間管理」(85.6%)、「出勤、始業時間等社会生活上の時間管理」(85.6%)、「食事、身だしなみ、入浴、排せつなどの基本的な生活管理」(82.1%)、「職場や共同生活の規則や規律を守ることができる」(79.6%)が8割程度またはそれ以上となっている。一方で、自立度が低いのは、「自分のお金の管理」(44.4%)であり、半数以上が“介助を必要とする”と回答している。これに次いでいるのが「家族以外の人に自分の気持ちや希望を伝えたり、相手の気持ちや言いたいことを理解することができる」(51.7%)、「体や心の健康を管理する、体調が悪い時に、病院に行ったり決められたように薬を飲む」(55.6%)である。

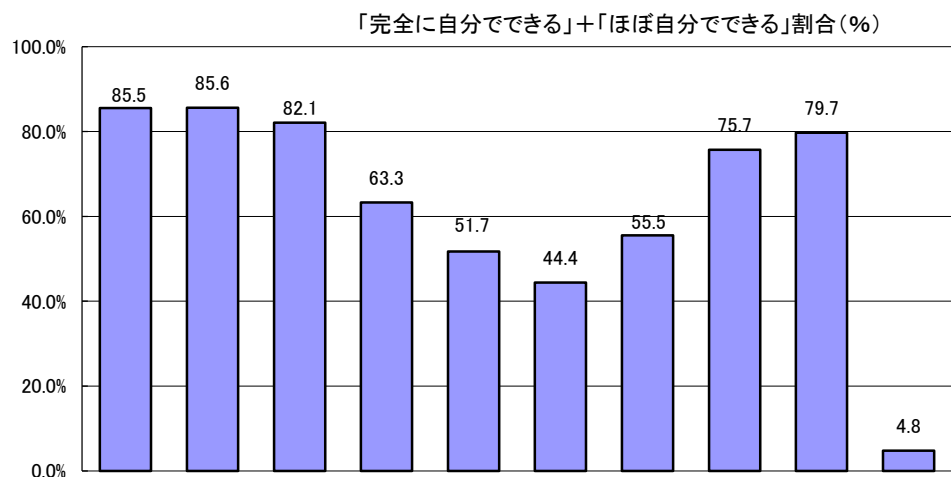


～ 家族にとっての負担度や、グループホームの必要性の背景には本人の
 “コミュニケーション”と“金銭管理”“健康管理”に関する自立度への不安が強い ～

生活自立度を「家族にとっての生活負担度の有無」で比較した場合、「負担あり」層と「負担なし」層で大きな差が見られるのは「体や心の健康を管理」（「負担あり層」－「負担なし層」の差が 34.7%）、「家族に気持ちを伝えたり、言いたいことを理解する」（同 33.0%）、「家族以外の人に気持ちを伝えたり、言いたいことを理解する」（同 31.7%）、「お金の管理」（同 31.5%）である。

また、グループホームへの入居を現在検討している家族（入居現在検討者）の評価が、全体平均と比べて特に低いのは、「家族に気持ちを伝えたり、言いたいことを理解する」（－22.1%）、「家族以外の人に気持ちを伝えたり、言いたいことを理解する」（－22.3%）であり、コミュニケーション能力への不安が、グループホーム入居の潜在的なニーズに結びついていることがうかがえる。

【問1. ご本人の生活状況をお知らせ下さい】
 N=全員(1023人)



	N	A) 基本生活の時間管理	B) 社会生活上の時間管理	C) 基本的な生活管理	D) 家族に気持ちを伝えたり、言いたいことを理解する	E) 家族以外の人に気持ちを伝えたり、言いたいことを理解する	F) お金の管理	G) 体や心の健康を管理	H) 1人の外出	I) 共同生活の規則や規律を守る	不明	
全体	1,023	85.5	85.6	82.1	63.3	51.7	44.4	55.5	75.7	79.7	4.8	
家族負担度※1	負担あり	362	71.5	72.4	63.8	42.0	31.2	24.0	33.1	58.8	63.5	10.5
	負担なし、不明	661	93.2	92.9	92.1	75.0	62.9	55.5	67.8	84.9	88.5	1.7
	「負担あり」－「負担なし」		-21.7	-20.5	-28.3	-33.0	-31.7	-31.5	-34.7	-26.1	-25.0	8.8
GH入居検討度※2	現在入居者	93	82.8	80.6	82.8	59.1	50.5	34.4	46.2	76.3	72.0	4.3
	現在検討者	119	77.3	82.4	75.6	41.2	29.4	26.9	40.3	63.9	68.9	10.1
	将来検討者	419	82.8	82.8	80.0	60.9	46.3	33.9	46.5	69.7	77.8	4.3
	不明者、不明	392	91.6	90.8	86.2	73.7	64.5	63.3	71.9	85.5	86.7	3.8
	「現在検討者」－「全体平均」		-8.2	-3.2	-6.5	-22.1	-22.3	-17.5	-15.2	-11.8	-10.8	5.3

※1：「問2 家族にとっての負担度」に対して、「かなりある」「ややある」と回答した人を「負担あり」層、「あまりない」「まったくない」「不明」と回答した人を「負担なし」層に分類（以下同様）

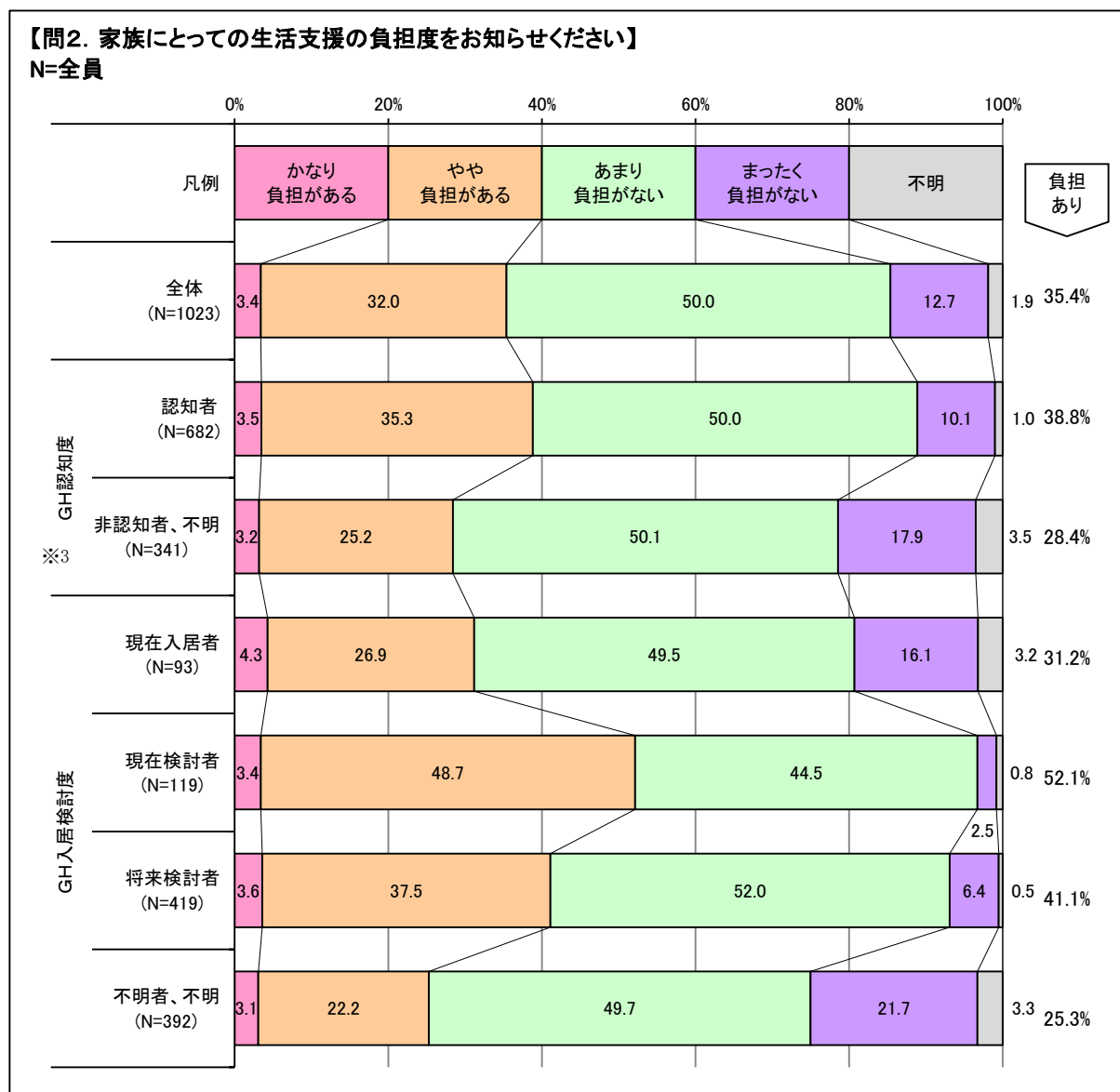
※2：「問10～問11の回答内容から「現在入居者」を選抜。「問17 今後グループホームへの入居を検討する予定」に対し、「現在具体的に検討して、入居を待っている」「希望に合うグループホームがあれば、いまでも検討する」と回答した人を「現在検討者」、「今は検討しないが将来は検討する」回答者を「将来検討者」、「わからない」「無回答」者を「不明者、不明」と分類（以下同様）

2. 家族にとっての生活支援負担度

～ グループホーム入居現在検討者の半数強が“負担あり”と回答 ～

家族にとっての生活支援の負担度を見ると、「かなり負担がある」(3.4%)、「やや負担がある」(32.0%)を合わせ“負担がある”と回答している割合は 35.4%である。

グループホーム入居現在検討者では“負担度”が 52.1%と半数を超えている。



※3:「GH認知度」は「問9 あなたはグループホームについてどの程度知っていますか」に対して「具体的な内容について知っている」「どういう施設か知っているが、具体的な内容については知らない」と回答した人を「認知者」、「グループホームという名前を聞いたことがある程度」「全く知らない」「無回答者」を「非認知者、不明」と分類（以下同様）

3. 負担に思うこと

～ 金銭管理、生活管理と並んで意思疎通の難しさに関連する項目が上位にあがっている～

「負担に思うこと」（自由回答、回答者数 317 人）を複数回答式にキーワード分類した結果では、1 位「意思伝達、コミュニケーション」（66 人）、2 位「お金の管理」（63 人）、3 位「日常的な生活の管理（入浴、衛生管理など）」（46 人）が上位にあがっている。また、8 位「情緒不安定、パニック」（32 人）、11 位「こだわりが強い」（21 人）、12 位「社会生活への参加や集団内での同調がむずかしい」（18 人）などを含めた意思疎通の難しさと、金銭、時間、健康などの生活管理の困難が結びついている例も自由回答の中に多く見られる。

※自由回答を複数回答方式のカテゴリーに分類（回答者数 317 人）

1 位	意思伝達、コミュニケーション	66 人 (20.8%)
2 位	お金の管理	63 人 (19.9%)
3 位	日常的な生活の管理(入浴, 衛生管理など)	46 人 (14.5%)
4 位	家事(洗濯や掃除、整理整頓など)	44 人 (13.9%)
5 位	送迎や外出時の付き添い	42 人 (13.2%)
6 位	時間の管理	34 人 (10.7%)
7 位	1 人にしておけない, 1 人で生活できない	33 人 (10.4%)
8 位	情緒不安定、パニック	32 人 (10.1%)
9 位	健康管理、体調管理	31 人 (9.8%)
10 位	身だしなみ、服選び	25 人 (7.9%)
11 位	こだわりが強い	21 人 (6.6%)
12 位	社会生活への参加や集団内での同調がむずかしい	18 人 (5.7%)
13 位	食生活管理(食べ過ぎ、肥満)	15 人 (4.7%)
14 位	親の高齢化など、将来が心配	14 人 (4.4%)
15 位	規則やルールが守れない	2 人 (0.6%)
	その他	19 人 (6.0%)

※「特にない」「わからない」など、意見がない人は除く

【意見抜粋】

- ・ お金の管理ができない。生活リズムが乱れる(ゲームをして深夜まで起きていて朝起きれない)。食事(休日等ほおっておくと一日何も食べなかつたりする。)
- ・ コミュニケーションをとることが難しく、相手の意思を理解し、それに対応する適切な行動がとれない。一定のものに執着があり、しばらくの間関心を示しているが、いつのまにか変化していく。行動パターンが自分が思っていることとはずれるとパニックを起こす。
- ・ 部屋の整理整頓が苦手です。会社に着ていく服など自分で決められない。毎月小遣いとして定額を渡しているのですが、お給料全額の管理は難しいと思います。

- ・ 家族間のコミュニケーションがとれない時が多く、母親が間に入って調整しなくてはならない。一つの事にこだわり始めると止まらず、アドバイスは耳に入らず、自分が納得するまでしないとおさまらない。
- ・ 自分一人で買い物等、外出をすることが難しいため、つきそいが必要。体調が悪いことなど、伝えるのが難しいようで熱があることなど家族が気づくまでわからなかったりする。お金を自分で管理できないため、将来が不安。
- ・ 体調管理・・・体調が悪い事を伝える事ができないため、こちらで考えなければならない事(頭が痛い？おなかが痛い？など) お金の管理・・・自分で買い物ができない。お金の価値が分からないなど。 周りとのコミュニケーション・・・特定の人(良く知っている人)とは、何とかやり取り(2択の質問等)できるが、それ以外の場合は全く近づこうとしないため。
- ・ 待ち合わせの時間は分かって、それに間に合うために何時に家を出ればよいかは分からないので、その都度確認する必要がある。整理整頓ができず、片づけられなかったり、扱いや作業が雑なので、声かけや注意が多くなってしまふ。人と共感することが難しく、相手の立場に立って考える事ができないので、人との関係でトラブルが多い。
- ・ 例えばエレベーター内で、うっかり人の足を踏んだり、肩がぶつかったりした時に「すみません」「ゴメンナサイ」が言えず他人を怒らすことがある。電話で病院や散髪の予約を自分ですることを嫌がる。誰かに「お金」を貸してと言われると断ることができない。
- ・ いくつになっても食事、身だしなみ、部屋のそうじ、片付け、お金の管理に支援や介助を必要とすることが多い。自宅から最寄り駅が遠く、交通の便もかなり悪いので、自家用車で送迎が多い。
- ・ 感じた事や考えた事を言おうとしなかったり、また逆に他人や家族でもその気持ちをわかろうとしない、できない事が多く疲れる。身だしなみを気にしないので外に出るときは特にこちらが恥ずかしい思いをする事がある。食べる物も健康の事など考えず好きな物を好きなだけ食べてしまうので太っていて、体のことが心配。
- ・ コミュニケーションの障害があり、理解力・判断力・思考力・記憶力・表現力が乏しいので、他人より時間がかかるし、何度も同じことを繰り返して注意していますが、進歩がありません。お金の管理・外出・他人との会話ができないので、負担がかかる。
- ・ 温度変化を意識して、服装に気配りすることが苦手であるため、通勤等の準備をする必要がある。本人にとって「耳障りな言葉」「自分で・・・」「日本で・・・」等)が出ると、急に不機嫌となり、耳をふさいでしまうので、会話ができなくなることもある。
- ・ 何か人に伝えないといけない時、いつも代わりに言ったり(親が)誤解を解いたり、時には、頭を下げたりが、いまだに続いている。親なき後、どうするのか、いつも考えている。
- ・ 家族以外とは、会話が上手くない。自分の気持ちを伝えることが出来ないで、会社で八つ当たりをすることがある。
- ・ 会話によるコミュニケーションが不可能なため、欲していることを伝える事に難がある。
- ・ 決まった人、所、場面等、限られた範囲での対応は、少しはできるが、決まった日常以外の事には一人では対応がうまくいかず、特に(対人面、会話、常識的な行動)、補助が必要で、本人に納得させなければならない。身体的な自立もむずかしく、部屋にこもって出てこない。
- ・ 決められた道などは(何度も通った)大丈夫ですが、その途中で、バスや電車など乗り間違ったり、止まったりした場合、どのようにすればよいか、わからない。おしゃべりも上手でないので、うまく人に聞けず、たとえ教えてもらっても、簡単な場合は、大丈夫ですが、ややこしいと覚えられない。お金の管理。
- ・ 言葉の理解、相手への説明に困難があり、家の中、親元では、守ってやれるが、親なき後の心配が尽きない
- ・ 常に大きな声で家族に話しかけ、しかも同じ事柄を何度も確認するので家族全員疲れ切っている。
- ・ 全く知らない初対面の人にも話しかけ、迷惑をかける。話しを聞いてほしい本人の望みが充分にきいてやれてないと思う。

- ・ 迷惑メールに知らないうちに答えていて、ひっきりなしにメールが届いていたことや、そういう人を友達と思い込んでしまう等、注意していてもいつの間にかひっかかってしまうことが、2・3回あり、最近はないもののまたいつか引っかかるのではないかと思う。
- ・ コミュニケーションをとることが難しく、相手の意思を理解し、それに対応する適切な行動がとれない。一定のものに執着があり、しばらくの間関心を示しているが、いつのまにか変化していく。行動パターンが自分が思っていることとはずれるとパニックを起こす。
- ・ 言動が一致しない。早とちりで他人に知らせる後でごめんなさいとってまわることが多々ある。少しでも体調が悪いと、即病院へ連れて行けと騒ぐ。通院中だが、医者との約束はその場だけ、家にいるとなかなか守れず、失敗してしまう、後片付けがづらい。
- ・ 食べ物や衣類等、こだわりが強く、家族の思い通りにならない時。初めて行く所や自分の言葉でしゃべったり、書いたりする所(病院や美容院)は一人で行けず、同行が必要。
- ・ お金の管理。生活の規則や規律を守れないことがある。時間の管理が十分でない。異性関係の事。
- ・ お金の意味、働いて収入を得る事、必要な物・事にお金を支払う事は理解しているのですが、通帳等から出し入れ管理が難しい。
- ・ 数字が分からないので、時間、お金が1人で出来ないの、外出は必ず付き添いがいる。
- ・ 金銭面では人に誘われて嫌といえず、だまされて物を購入したり、お金を持っていけば、あるだけ使ってしまい、いつもお金がないという方が多い。服や身だしなみを指示してあげないと冬なのに半袖をきたり、服がズボンの上からはみだしていたり、時々水を出しっぱなしにしたり電気の消し忘れが多い。
- ・ 自分一人で買い物等、外出をすることが難しいため、つきそいが必要。
- ・ 体調が悪いことなど、伝えるのが難しいようで熱があることなど家族が気づくまでわからなかったりする。
- ・ お金を自分で管理できないため、将来が不安。
- ・ 日常生活で決まった事をしている場合は支援は不要だが、自分で発案、計画を立てて実行まで全ての過程を1人でできないため。例えば一カ月の小遣いは自分で管理できるか、給料全体の管理は無理。旅行等も切符の購入や旅行の計画は立てられない。
- ・ 以前、携帯を持たせていた時に、勝手に高額な契約をしてしまい、だまされたのはわかってても証拠品を捨ててしまったので、90万近く払ったことがあり、これからもこのようなことがあったらどうしようかと心配である。
- ・ 自分の考えを改める事、間違いを指摘されると融通がきかなくなる。金銭感覚がしっかりしていないので欲しいもの、やりたいものがあると全部使ってしまうので日割りでこづかい等を渡したりしなくてはいけない。
- ・ 今は家族と生活しているので、生活費の負担は本人にとってもあまりないと思いますが、私たち自身も年金生活に入ってきているので、お金に関しては大変になるかと思っています。(息子は給料と障害者年金から生活費と保険、医者代など出しています。)
- ・ 季節に応じた服装を自分で選ぶことができない。入浴、自室の掃除等、自発的に行う事ができない。生活に必要な金銭を自己管理できない。常に何らかのサポートが必要であります。
- ・ 衣、食、住全ての面で、単独での準備、後始末をするのは難しい。一人住まいの経験がなく、今後の課題と考えます。
- ・ 自分の事はなんでも自分でできるのですが、室温の調節ができませんので、冬は着るもの、エアコンの管理をしないといけません。気を付けないと寒い時は、どの位が体に良いのかが解らないようです。温度の管理、洗髪、歯磨き、いつも気を付けないとダメ。金銭の管理もあればあるだけ使ってしまう。
- ・ 身だしなみ(歯磨き、爪切り、服の裏表、くつの左右、等々)に気が向かない。掃除や洗濯が不十分で介助を必要とする。

- ・ 髪が自分で洗えない。お皿や茶わんなど本人が洗った後、洗い直しが必要。使ったら使っぱなし。ゴミを出してもそのままにする。
- ・ 駅まで少し距離があり、交通手段がないため、親が車で送迎している。重度で言語理解、コミュニケーションが困難。見通しのある生活を送るためスケジュールカード、手順書が必要。情緒安定のためにも、環境設定がとても大事。
- ・ 休みの日などなるべく外へ連れ出してやりたいが、自分自身の都合や体調の事もあり、毎回毎回だとしんどくなる(ヘルパーさんが減ってしまって利用できない)行動面を気にしていないといけない。
- ・ 経験したことがない事をする時、必ず、親の手助けが必要です。電車、バスに乗る時、医者に行くとき、床屋など。
- ・ 通院や薬の管理、様々な書類手続き等、行かねばならない場所が平日の9時～17時までで、私の仕事をその都度休みをとらないといけない。色々要件が重なってしまうと大変です。
- ・ 病院や訓練には必ず付きそわなくてははいけないので、家族全員のスケジュールをあわせるのが負担になる。
- ・ マイペースで仕事から帰宅後自分の時間を優先させたがるので、食事などが遅くなりがち。生活のリズムが遅くなる(甘やかしてしまう)
- ・ 目覚ましで一人で起きれない。喘息の薬、多動症の薬、過敏性腸症候群の薬を常時服用しているので体調の管理に気をつけてあげないと仕事を続けていくことが難しいこと。病院の予約、受診、薬の管理が1人で出来ない事。
- ・ 本人の中で決めた事(出掛ける事)が出来ない時の感情の発散が親に当てられるため、毎回どうしたらと考えます。
- ・ 薬の時々ではあるが飲み忘れがないか常に確認たしかめるので負担。(本人は大丈夫といってもいつもかくにん)。夜なかなか眠れないと夜中に何かもうろうと薬で下にリビングに来る時と朝が薬で眠く、会社に遅刻しないように起こすが、自分で起きるまで声かけないが・・・声かけする
- ・ 日常決まっている事についてはほぼ自分で行動できるが、突然の変更、別の行事等が入ったときに、行動のルート、時間の段取りはできない。そのため、一緒に調べながら説明をしていく。また衣服の調整が出来ないため衣替えの時期は毎朝チェックをする。
- ・ 仕方ないことだと思いますが、同じことを毎日言わないといけない。「できてきた。」と思い、言うのをやめると、また元に戻ってしまう。何かあると、パニック状態になることがあり、しずめるに時間がかかります。(なかなか、人の言うことが耳に入らない。)
- ・ 食事の時など、時間やお皿などのこだわりがあり、その都度本人に聞くなど合わせなければいけない事。仕事が終わり、帰宅する際、曜日によっては機嫌が悪くなり、様子をみなければいけない事。
- ・ 飲酒の量が多く自分で規制ができない。
- ・ てんかん発作があるため、一人で外出ができないため、常に付き添いが必要であったり、いつ起きるかわからない発作に対する不安がある。
- ・ 病気(体)の方も疾患があるのでそちらの方も指導しなければいけないが、本人がなかなか納得いかなかったり病院も付き添って行ったり、将来はどうなるかといろんな面で不安である。
- ・ 身だしなみや入浴、そして、整理整頓、掃除など無頓着でよく注意するように促す。具体的に仕方を教える。髪をきちんと梳いたり3日に1回は少なくとも入浴するように教える。臭いと周りの人に迷惑がかかることを教える。
- ・ 本人がいつも悩みを抱えていてしんどくなった時に攻撃的になる。この悩みは解決出来るようなものではないので、本人が思っている事を全部言えるようにすべて受け止める、落ちつくのを待つ。親の言う事は聞かない
- ・ 部屋を汚す、いつもゲームをしていて会話が少ない、すぐ怒る、自分のいう事を曲げない

- ・ 本人は自閉症であり、自身の気持ちを言葉で表現することが難しい。家族であっても、思いをくみ取りながら会話をしていかななくてはいけない。上手くいく時(本人が本当の思いを言葉で表現できる時)もあるが、言えないこともある。家庭でパニックが起こることはほとんどないが、外部だと誤解されそうな言葉(全く別な意味の言葉)での表現をすることもあり、ストレスが溜まっていく姿が見える。かわいそうだと思い、心が痛む。無関係な話題に切り替える事やパニックなどによって理解できない言葉のやりとりから回避しているように思える。
- ・ 本人なりの独特のこだわりがある事があり、こだわりのある事柄については自分の意志が強く、理解納得させるのが、時間がかかる事があつたり、曲げられづらいことがあること。
- ・ 現在、グループホームを利用しているが、ことあるごとに“母”である私に連絡がある。また、本人の気持ちを伝えることなどがある。
- ・ 決まった人、所、場面等、限られた範囲での対応は、少しはできるが、決まった日常以外の事には一人では対応がうまくいかず、特に(対人面、会話、常識的な行動)、補助が必要で、本人に納得させなければならない。身体的な自立もむずかしく、部屋にこもって出てこない。
- ・ 自分で社会生活に必要な手続きをしたり、行動を判断して行うことが出来ない。
- ・ 体調管理。太り過ぎなので、食事管理、薬を飲んだか、睡眠時間はとれているか、常に気にしていること。

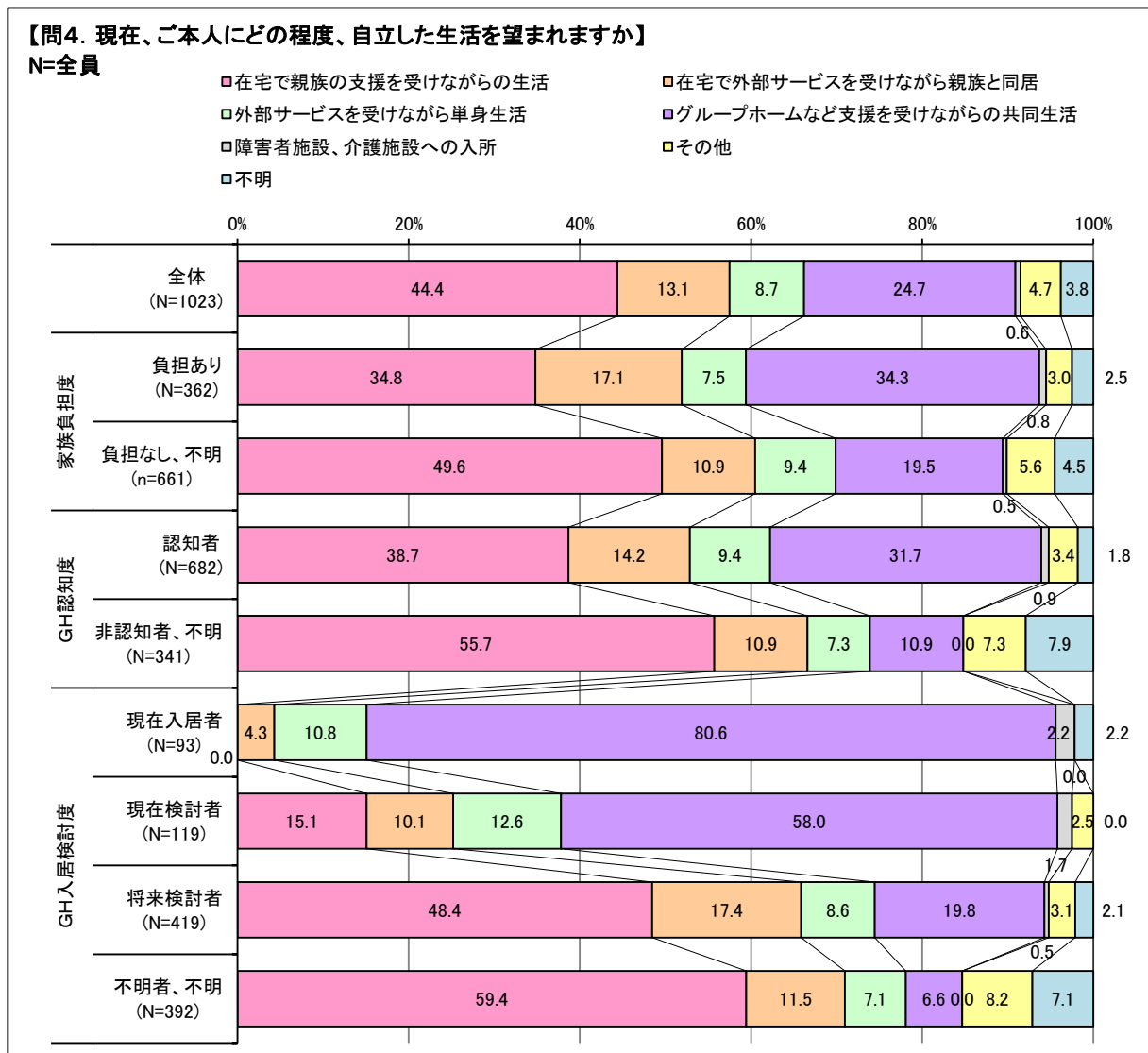
4. 本人の生活自立に対する希望

～ 「家族支援に負担がある」層の4割強はグループホームでの生活、又は外部サービスを受けながらの単身生活を希望している ～

「本人の生活自立に向けての希望」は、全体では「在宅で親族の支援を受けながらの生活」(44.4%)が最も多く、「グループホームなど支援を受けながらの共同生活」(24.7%)がこれに続いている。

これを家族負担度別に見ると、「負担あり」層は、「グループホームなど支援を受けながらの共同生活」(34.3%)、「在宅で外部サービスを受けながら親族と同居」(17.1%)と回答する割合が51.4%と高い。また、「グループホームなど支援を受けながらの共同生活」(34.3%)と「外部サービスを受けながら単身生活」(7.5%)を合わせた“在宅外での自立”を希望する割合が41.8%と「負担なし」層に比べて高い。

グループホームの検討度別に見ると、「現在入居者」では8割以上が継続を希望しており、「入居現在検討者」では58.0%と過半数以上がグループホームでの生活を希望している。



5. 将来の本人について不安に思うこと

～ “親の高齢化などで家族支援ができなくなった時” の不安が 49.9% と高い。
 具体的には “金銭管理に関する不安” が最も多い ～

自由回答記入者（647人）中、49.9%にあたる323人が「親が高齢化したりいなくなった時、1人になった時」の不安を抱えている。具体的には「金銭面、お金の管理」（123人、19.0%）が最も多くあがっているが、「グループホームや外部サービスを受けることへの不安」（きちんと支援してもらえるか、入居できるか、本人が望むか、共同生活ができるかなど）への不安も83人、12.8%と多く見られる。

※自由回答を複数回答方式のカテゴリーに分類（回答者数647人）

1位	親が高齢化・いなくなった時、一人になった時	323人(49.9%)
2位	金銭面、お金の管理	123人(19.0%)
3位	グループホーム、外部サービスを受けること	83人(12.8%)
4位	自立した生活、一人での生活	80人(12.4%)
5位	健康管理、体調	54人(8.3%)
6位	コミュニケーション、会話がうまくできない	53人(8.2%)
7位	状況判断（詐欺、災害等）	37人(5.7%)
8位	就労について（収入等）	35人(5.4%)
9位	食事の管理	29人(4.5%)
10位	異性関係、結婚	12人(1.9%)
11位	清潔（服装等）	5人(0.8%)
	その他	16人(2.5%)

※「特にない」「わからない」など、意見がない人は除く

【意見抜粋】

- ・ 親が面倒が見られなくなった時1人で生きていくことができるか、定年まで働く事が出来るか不安です。本人が病気になった場合
- ・ 心をくみ取りながら、会話ができる人がいないことで、孤独感を常に感じている姿がわかる。今は、保護者が少しでもやり取りをしているが、保護者が亡くなった後、全くの孤独になってしまうのではないだろうか。故に問題行動が増えてしまうかもしれない。ますます孤立してしまうことが不安である。体や心、金銭面での管理について、身近でケアを必要とする状況である。
- ・ 親の亡き後、たとえ兄弟がいても、それぞれの生活があるので、すべて頼ることが出来ないし、グループホーム等で生活できればと考えているがグループホームなどの空きがあるのか、簡単に入居できるものなのか、もっとグループホームの事を詳しく知りたいです。
- ・ 兄弟もいなく、私が死亡、病気などと長期入院等で親も年齢がいくので不安に思う。親が元気な間に子供の先行きを見とどけておきたい
- ・ 一人っ子で兄弟がなく、親亡き後、誰も頼れる人がいません。グループホームに入ってもきちんと支援してくれる施設なのか安心して頼めるのか心配で仕方がありません。

- ・ 兄弟も父親もいなく、母親の私一人だけなので、私がもし病気など、いなくなった時を考えると、不安です。食事の面、金銭管理の面。
- ・ 私たち親のいなくなった後の事が一番の心配事です。兄弟に頼ることになりますが、何処まで障害について理解しているのか又同居してストレスが無くやっつけられるのかと余計な心配がつきませんが、今は本人が自立が少しでもできるように一緒に頑張っています。今後グループホームにお世話になる事も含め、みんなで相談しながら本人が困らない方向に進んで行ければと思っています。
- ・ 親が亡くなった時、兄弟はなし、遠くに親戚はあるが、障害に対して理解がなく支援は全く期待できない。本人のことを支援してくれる本当に本人を理解してくださる方がおられるところで、最後まで安心して暮らせるように切に思っています。好きな事、一人で楽しむこともできるグループホームが自由意志も尊重される気がします。帆人で、社会福祉士さんがおられ(本人のことを詳しく理解してくださる方、財産、心情介護、身辺に詳しい方)に、親のかわりに成年後見監督人になってもらいたいと思います。グループホームに親にかわるマナーやエチケット、正義感のある方が、昔の寮母さんのような人があるといいなと思います。グループホームが、今、支援の人手不足で食事を宅配の弁当にたよるようなことは聞くと不安です。
- ・ 本人の退職後の生活(老後の生活)(親亡き後の生活)が、ちゃんとできるか・・・そのためには、早いうちからある程度自立した生活をさせなくてはいけないと思うが、今はまだ20代前半で、自宅で親の保護のもと、生活しています。ある程度の年齢になったら、段階的にでも考えようと思っています。
- ・ 本人は三人兄弟の次女ですが、長女は結婚をし、家庭を持っています。弟は、家を出て仕事をしています。家には、私(母)と、本人二人で生活しています。現在は、今のままでよいのですが、私が高齢になったときに、グループホームに入ってもらいたいと考えています。しかし本人は、長女夫婦と一緒に住みたいと言っていますが、二人性格が違うので、絶対うまくいかないと思っています。本人がグループホームに少しずつ馴染んでくれば友達もでき、人生幸せになるのではないかと考えています。
- ・ 親が高齢になって、支援が困難になった時に、本人がそのことを受け入れられるかどうか？精神的ストレスにならないか？不安です。
- ・ 親が年をとり、その後の事について、成年後見人制度をとらなくてはいけないとは思いますが、その時期についてのこと。
- ・ 親が年老いて高齢になり、病気や介護を必要としたとき、本人一人になって将来の生活(日常生活、時間の使い方、金銭の管理、身体健康管理、交通の手段、社会性、買い物、人との意思伝達、対人関係)がしていけるか、生きていけるか、心配で将来が不安です。
- ・ 母がなくなって、娘と私(80才)二人で生活しています。膝の軟骨がすりへり、腰が圧迫骨折のため、つえをついても10mも歩くことが出来ません。事務用の車のついた椅子に乗って移動しています。あと何年生活できますか不安です。
- ・ お金の管理、買い物に行っても常に千円で支払うなど、計算能力がない。グループホームの入所を望むが、ホーム内での金銭トラブルを心配する。整理整頓ができないので、部屋の使い方が心配。
- ・ グループホームなどで共同生活は可能だと思うが、お金の管理など、むずかしいことをどうやってサポートして貰うか、だまされはしないかなど。病気になった時、自分で症状を正しく伝えられるか、人として楽しく暮らせているかなど。
- ・ 自立をさせたい、でも行動が心配な所がある。お金の事でと直ぐ物がほしくて買ってしまふ、まわりがもっていると直ぐ手に入れたい。だからと人の物まではとらないか心配になる事があります。このさき、グループの中に行っても親として教えて来たつもりですが、むやみに買いたたけない事と、その所が反対になっているようです。
- ・ 金銭の管理と、役場等の手続き、外部サービスを受ける手続きが自分でできるかが心配。字が読めないこと、理解も不十分なので、病院へ新たに行けるかが心配。
- ・ 県外への移住による障害者年金の授与の有無←本人が書きました。将来本人がどこに住居しても経済的に生活していけるかが心配。
- ・ 他人と一緒に暮らしていけると思うが、金銭管理を安心して任せられる環境にいてほしい。一人一部屋生活しているので、複数で一部屋はかなりきついと思う。

- ・ 金銭管理(給料の振り分けは親がしているが残った小遣いを短期間で使ってしまう)・結婚して、独立生計が営めるのか(賃金が低いため)
- ・ 決められたお金の中での使い方はできていますが、それ以外のお金、貯金、生命保険の支払い等、支払い関係が不安です。衛生面、身だしなみ、服装(季節にあった格好等)、ゴミ出し…は一言声をかけて気づかせているのでひとりになったらどうなるか。
- ・ 親亡き後に、・騙されたり、詐欺被害に遭わないかと心配です。・地域の回覧板やお役所から送付されてくる文書は、本人にとっては難解であり、受けられる行政サービスを受けられなかったり、果たさなければならない義務を果たせなかったりするのではと心配です。・財産管理をできないであろうと心配です。
- ・ 親が亡くなった後、兄弟や親せきに、できるだけ負担をかけずに一人で生活していけるかどうか不安に思っている。障害を理解してくれる人の支援をきちんと受けれるかどうか不安に思っている。
- ・ グループホームでは、サービス外のことが、相談ならない。責任もつての見守りができない。(病気になった時、なりそうな時予防、大きい決断が必要な時)
- ・ グループホームに入りたくないと言っているのですが、私が高齢になった時に私は本人にホームに入ってほしいと思っていますが、本人はイヤだと思っている事
- ・ 家にいる時は出来ていることが、グループホームも含め、外の世界でどれだけ同じようにできるのかが分からない。家族はずっと一緒に暮らしているの、行動や言っていることを理解できるが、他人が理解してくれるか不安。
- ・ 退職後、グループホームまたは介護施設へ入所を希望していますが、後見人制度を利用し、病院面、銀行関係、そして協調性のない子ですので、入所者の方々と仲良く生活してくれればと思っております。
- ・ 本人は自閉症でこだわりがあるため、共同生活の中でもこだわりはずっと続いていくと思います。そのため拘束されると本人の負担になってしまうので、ある程度の理解をしてくれるグループホームでの共同生活を希望しています。もちろん生活するうえでルールは必要だとは思いますが。
- ・ 目先の事しか考えられず、自分の思ったことを行動してしまうので、身近に指導、誘導して下さる方が必要と思います。支援者、支援施設で生活する事を望んでおります。
- ・ 自分一人では、全く生活ができない事。今の自分の趣味を楽しむには、親の援助がかなり大きいので、将来グループホームで生活した場合、大好きな事を続けられるかどうか。
- ・ 単身生活は無理だと思し、望んではいない。私としては、グループホームでの共同生活の中で生活できたらうれしいが、メンバーさんとのマッチングが不安。
- ・ 一人暮らしはむずかしいので、本人に合ったグループホームで楽しく過ごしてほしいが、本人に合うグループホームがあるかどうか不安。費用もいくらかいあればいいかわからない。どの程度のサポートをもらえるか心配。
- ・ 外部サービスを受けたいとは思いますが、いい事ばかりではなく、信用できないという思いもあり、なかなか受けられないでいます。
- ・ 今、母と本人の二人の生活なので親がもしもの時に受け入れ先がないので、心配です。グループホームも支援者不足で、ホームも大変だと聞いていて、そんなところで生活させるのも不安ですがしかたがないのかなと思う本人に合ったホームがあれば…と思う。
人とコミュニケーションをとることが苦手なので不安です。グループホームなどに入れたとしてもそこでの人間関係を心配します。
- ・ 現在は、在宅で家族と一緒に生活していますが、どうしても足りないところなどに手を貸してしまう事があります。本人もいろいろ考え、努力していますが、近い将来自立へ向けて、どのようなステップを経て、社会生活を送ることができるようになるのか不安です。
- ・ 今は親に甘えていて、なんでも人任せな所がたくさんあるので、早く自立できるようにしてほしい。不規則な生活(飲酒)なので、身体が心配です。

- ・ 私たち夫婦は高齢のため、何年か先に息子が一人で自立した生活が出来るか心配です。一人息子で助けてくれる身内がない！自宅をグループホームにとも考えています。
- ・ 将来グループホーム等で、生活ということが、家族の不安から安心するために、一番最善の方法と私は思っています(母は)。しかし、他の家族にしてみると、まだまだ成長する様子があるのでは？と思うところも多いらしく、自宅にて生活できることを望む声もあります。本人の自立の時まで、話し合いをしたいと考えています。まだ、親も自立できていないのかもしれない。
- ・ 弟が同居してくれる間はいいが、もし結婚して単身になった時、自宅で外部サービスを受けながら単身生活ができるかどうか、近所の対応も心配。
- ・ 難病を発症しているため、将来的に身体面での介助も必要となってくると思います。身内に介助してくれる人がいなくなった時、どのようなサービスを受けるのが本人のためなのかがわからない。
- ・ こだわりがあるため自分のペースがみだれることが嫌なのでグループホームなど人と関わる時に混乱する事や自分の考えや思いを、相手に伝える事がむずかしい事。何かを言われた時に、すぐに受け入れる事がむずかしく、自分の中でそれを処理していくことに時間が必要であることなど、まわりの配慮が必要となってくること。
- ・ 生活をして行くうえで、いろんな手続きを何も詳しく教えていないので、しっかり理解して、出来るのかが不安です。人が良いと言うか、優しすぎるのか、人に騙されやすいのではないかも心配です。
- ・ 今は親がいて、代弁その他補ってあげられているが、障害特性としてコミュニケーションの難しさがあるため、一人でも思いを伝えようとしていたり相手の事を理解しようとしていたりできるのだろうか、複数の人と過ごす安心感と不安感の両方がある。
- ・ 日常生活は、大丈夫だと思っておりますが、自分の思っている事、考えを相手に伝えきれないこと、頑固(こだわり)ですが、真面目でコツコツ物事を進めるタイプなので、仕事は真面目にできると思っておりますが、素直すぎるため、だまされやすい面もあり、悪い事にさそわれても相手を信じてる場合、やっと思いそうところが心配。
- ・ 自分の気持ちや考えをうまく表現できないので、グループホームで他の利用者さんから嫌な事をされたりしても訴える事ができない、などの心配があります。
- ・ 年を増すごとに、考えが固まってきて、人の話をきちんと聞こうとしない頑固さ、思い込むと頑固として譲ろうとしない性格を心配しています。
- ・ 身のまわりの事はほぼ自分ででき、サービスを受けながら単身生活も可能かもしれないが、不測の事態が起きた時に対応できないと思えるので、いつでも頼れる方がいてくれればと思います。
- ・ 人なつこいので良いが、色々な面での判断能力が乏しいため、誰かにだまされたり、意味もわからず使う言葉や態度で誰かを傷つけたりしないか心配。また、慣れてくると丁寧な仕上げができない。
- ・ 正確な善悪の判断ができず、騙されてお金を奪われるのではないかということ。顔見知りの人に「お金をかして」と言われれば、簡単に貸しそうだし、返してと言えない性格なのでうやむやにされそうに思う。
- ・ 経済的に生活できるのか、心配です。おもちゃ、ゲームソフト、好きなものをがまんできず、買ってしまうので、お金を大切に使うという気持ちが全くない。(親のしつけが悪かったと思いますが)
- ・ 働ける間は暮らせてますが、働けなくなった時に、家族と一緒に暮らせないかな・・・親がいなくなったら、グループホームでもと、考えてます。
- ・ 兄弟も障害がある為、また親族もいないため、地域の支援が不可欠だが、そうした支援者がいるかどうか不安。現在、子の療育、介助も手を離れないのに加え、親(子からは祖父母)の介護も重なり休む暇もない。

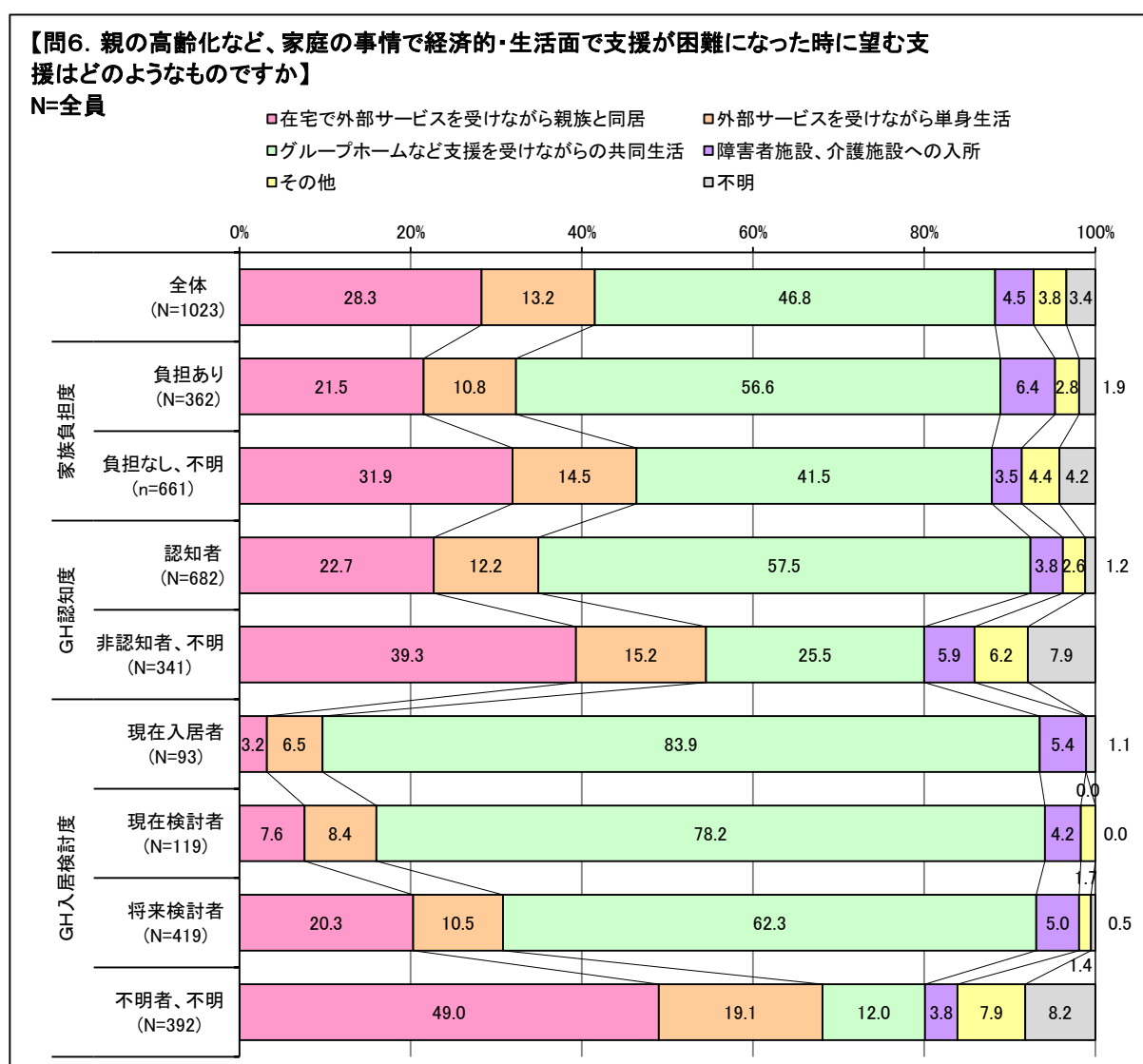
6. 親の高齢化など家族の支援が困難になったときに望む支援

～ グループホーム入居希望率は46.8%。「外部サービスを受けながら単身生活」を合わせると約6割が在宅以外での支援を希望 ～

「親の高齢化など、家庭の事情で経済的・生活面で支援が困難になった時に望む支援」に対しては、「グループホームなど支援を受けながらの共同生活」（46.8%）が最も多く、「外部サービスを受けながら単身生活」（13.2%）を合わせると在宅以外での支援を望む割合が60.0%を占めている。

家族負担度別に見ると、「負担あり」層のグループホーム希望率は56.6%と半数を超えている。また、「負担なし」層でも、グループホーム入所希望率は41.5%と「在宅で外部サービスを受けながら親族と同居」（31.9%）を上回っている。

グループホーム認知度別に見ると、認知者ではグループホーム入居希望率が57.5%であるのに対し、非認知者（不明を含む）では25.5%と低く、グループホームについての認知理解度が入居希望度に大きく影響を与えていることがうかがえる。



7. 本人に共同生活や入所を望まない理由

～ 「本人が望まない」「共同生活が難しい」が主な要因。

負担がある人やグループホーム現在検討者が“望まない”理由には「経済的負担」「グループホームをよく知らない」「施設入居への不安」が強い～

「ご本人に共同生活や施設入所を望まない理由」に対する回答として上位にあがるのは、1位「本人が望まないと思う」(50.2%)、2位「他人との共同生活が難しいと思う」(27.8%)、3位「グループホーム・施設のことをよく知らない」(23.8%)である。

家族負担度別に見ると、「負担あり」層は「負担なし」層に比べて「入居準備費や入居中費用(家賃や食費)などが高いと思う」(29.1%)、「施設に入居させるのは不安」(25.8%)、「他人との共同生活が難しいと思う」(35.0%)への回答が高い。

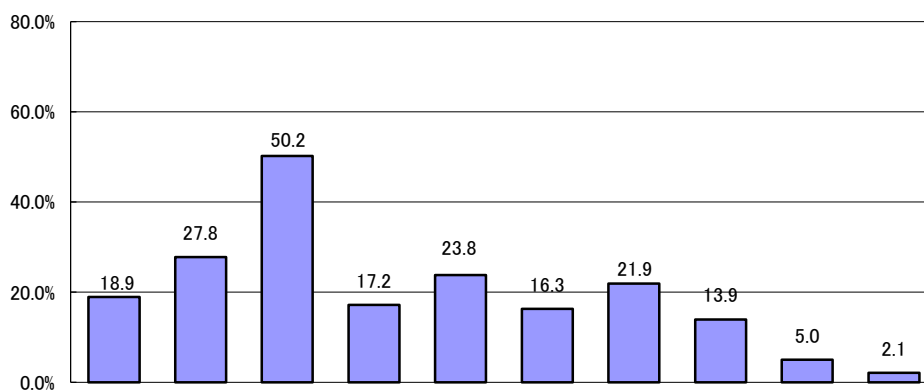
グループホーム認知度別に見ると、“認知者”は「他人との共同生活が難しいと思う」(31.9%)、「本人が望まないと思う」(55.5%)をあげる割合が高い。

グループホーム入居現在検討者は、「入居準備費や入居中費用(家賃や食費)などが高いと思う」(31.6%)、「施設に入居させるのは不安」(42.1%)、「グループホーム・施設のことをよく知らない」(36.8%)、「他人との共同生活が難しいと思う」(38.8%)をあげる割合が全体平均に比べて高い。

【問7. ご本人に共同生活や施設入所を望まない理由は何ですか】

N=ご本人に共同生活や施設入所を望まない人(424人)

(%)



	N	入居準備費や入居中費用(家賃や食費)などが高いと思う	他人との共同生活が難しいと思う	本人が望まないと思う	施設に入居させるのは不安	グループホーム・施設のことをよく知らない	どんなときも家族が自宅で支援するつもりでいる	1人暮らしができると思う	考えたことがない	その他	不明	
全体	424	18.9	27.8	50.2	17.2	23.8	16.3	21.9	13.9	5.0	2.1	
家族負担度	負担あり	117	29.1	35.0	45.3	25.6	26.5	11.1	10.3	12.0	7.7	1.7
	負担なし、不明	307	15.0	25.1	52.1	14.0	22.8	18.2	26.4	14.7	3.9	2.3
	「負担あり」-「負担なし」		14.1	9.9	-6.8	11.6	3.7	-7.1	-16.1	-2.7	3.8	-0.6
GH認知度	認知者	238	17.6	31.9	55.5	19.3	13.4	17.2	24.4	5.9	6.3	1.7
	非認知者、不明	186	20.4	22.6	43.5	14.5	37.1	15.1	18.8	24.2	3.2	2.7
	「認知者」-「非認知者」		-2.8	9.3	12.0	4.8	-23.7	2.1	5.6	-18.3	3.1	-1.0
GH入居検討度	現在入居者	9	11.1	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1	22.2
	現在検討者	19	31.6	36.8	36.8	42.1	36.8	0.0	21.1	0.0	15.8	0.0
	将来検討者	129	16.3	33.3	49.6	20.2	24.8	14.7	16.3	7.0	4.7	2.3
	不明者、不明	267	19.5	25.5	52.1	14.6	22.8	18.7	24.7	18.7	4.1	1.5
	「現在検討者」-「全体平均」		12.7	9.0	-13.4	24.9	13.0	-16.3	-0.8	-13.9	10.8	-2.1

8. 本人に共同生活や入所を望む理由

～ 「共同生活が安心」「日常的に専門的なサポート」など『安心感』が上位にあがる ～

「ご本人に共同生活や施設入所を望む理由」の上位にあがるのは、「1人暮らしより共同生活の方が安心」（70.1%）、「日常的に専門的なサポートが受けられる」（59.8%）、「将来は在宅でサポートできる親族がいない」（40.2%）である。

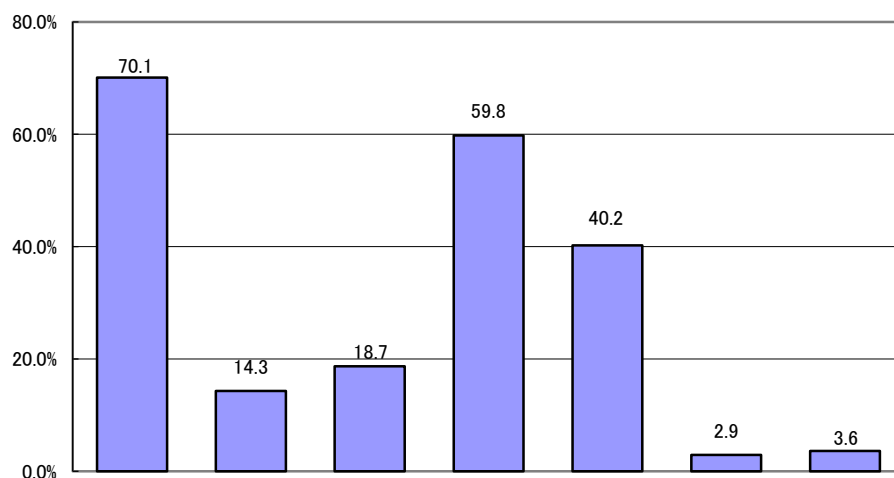
家族負担度別に見ると、「負担あり」層では、「日常的に専門的なサポートが受けられる」（64.9%）、「将来は在宅でサポートできる親族がいない」（47.8%）をあげる割合が高い。

グループホーム入居検討状況別に見ると、「現在入居者」は、「1人暮らしより生活費が安い」（22.9%）、「家族に負担がかからない」（25.3%）、「入居現在検討者」は「日常的に専門的なサポートが受けられる」（73.5%）をあげる割合が、「入居将来検討者」は「1人暮らしより共同生活の方が安心」（73.0%）をあげる割合が他層に比べて高い。

【問8. ご本人に共同生活や施設入所を望む理由は何ですか】

N=ご本人に共同生活や施設入所を望む人(525人)

(%)



		N	1人暮らしより共同生活の方が安心	1人暮らしより生活費が安い	家族に負担がかからない	日常的に専門的なサポートが受けられる	将来は在宅でサポートできる親族がいない	その他	不明
全体		525	70.1	14.3	18.7	59.8	40.2	2.9	3.6
家族負担度	負担あり	228	65.8	13.2	17.5	64.9	47.8	3.9	2.2
	負担なし、不明	297	73.4	15.2	19.5	55.9	34.3	2.0	4.7
	「負担あり」-「負担なし」		-7.6	-2.0	-2.0	9.0	13.5	1.9	-2.5
GH認知度	認知者	418	73.7	14.6	18.9	62.7	40.7	3.1	1.9
	非認知者、不明	107	56.1	13.1	17.8	48.6	38.3	1.9	10.3
	「認知者」-「非認知者」		17.6	1.5	1.1	14.1	2.4	1.2	-8.4
GH入居検討度	現在入居者	83	67.5	22.9	25.3	53.0	41.0	2.4	4.8
	現在検討者	98	71.4	14.3	20.4	73.5	42.9	5.1	2.0
	将来検討者	282	73.0	12.1	14.5	61.7	41.8	2.1	3.2
	不明者、不明	62	58.1	12.9	25.8	38.7	27.4	3.2	6.5
	「現在検討者」-「全体平均」		1.3	0.0	1.7	13.7	2.7	2.2	-1.6

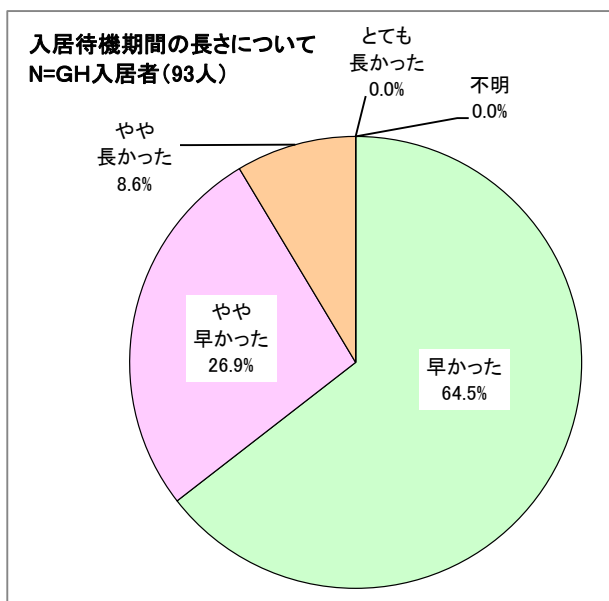
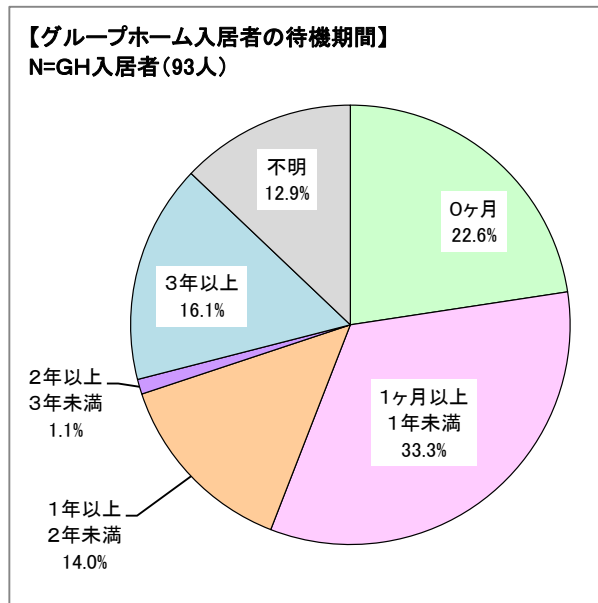
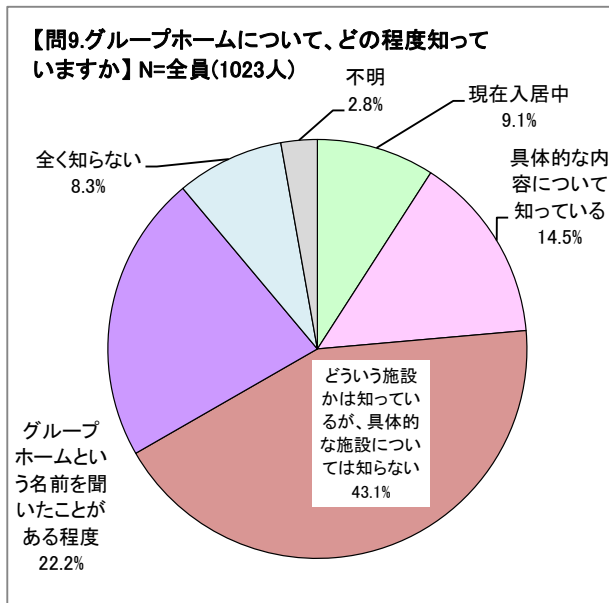
9. グループホームの認知と入居経験

～ グループホームについて「概要は知っているが具体的に知らない」人が4割強と最も多い～

(※ 問 10、11 回答などから分類)

グループホームの認知・理解度を見ると、「現在入居中」が9.1% (93人)、「具体的な内容について知っている (未入居)」(14.5%)、「どういう施設かは知っているが、具体的な施設については知らない」(43.1%)、「グループホームという名前を聞いたことがある程度」(22.2%)であり、「概要は知っているが具体的には知らない人」が4割を超えている。

現在入居者の待機期間は、「1ヶ月以上1年未満」(33.3%)が最も多い。待機期間についての満足度は「早かった」が64.5%と半数を超えている。



(「やや長かった」「とても長かった」と答えた方) 待機期間はなぜ長くなったと思いますか。

- ・障害の認定を受けた年齢が遅くグループホームの事知らなかった。空室もなかった。(希望しても)
- ・生活や就労の場所に近い処を探すのに時間を要した
- ・待機期間が長かった分、いろいろなグループホームの見学や話を聞くことができ有意義でした。ただ、入所の希望はあっても、グループホーム自体の需要と供給の差が大きく、入りたくても入れない等の現実のカベに当たりました。
- ・グループホームの数が少ないため
- ・グループホームの開設準備に時間がかかった
- ・入所希望の方が多くなっている。施設の不足。
- ・待機は待つのが嫌いで、長いとイライラになってしまうから、長くなったと思います。
- ・空室がなかなかなかった。
- ・ずっと家族と一緒にくらしてるからです。

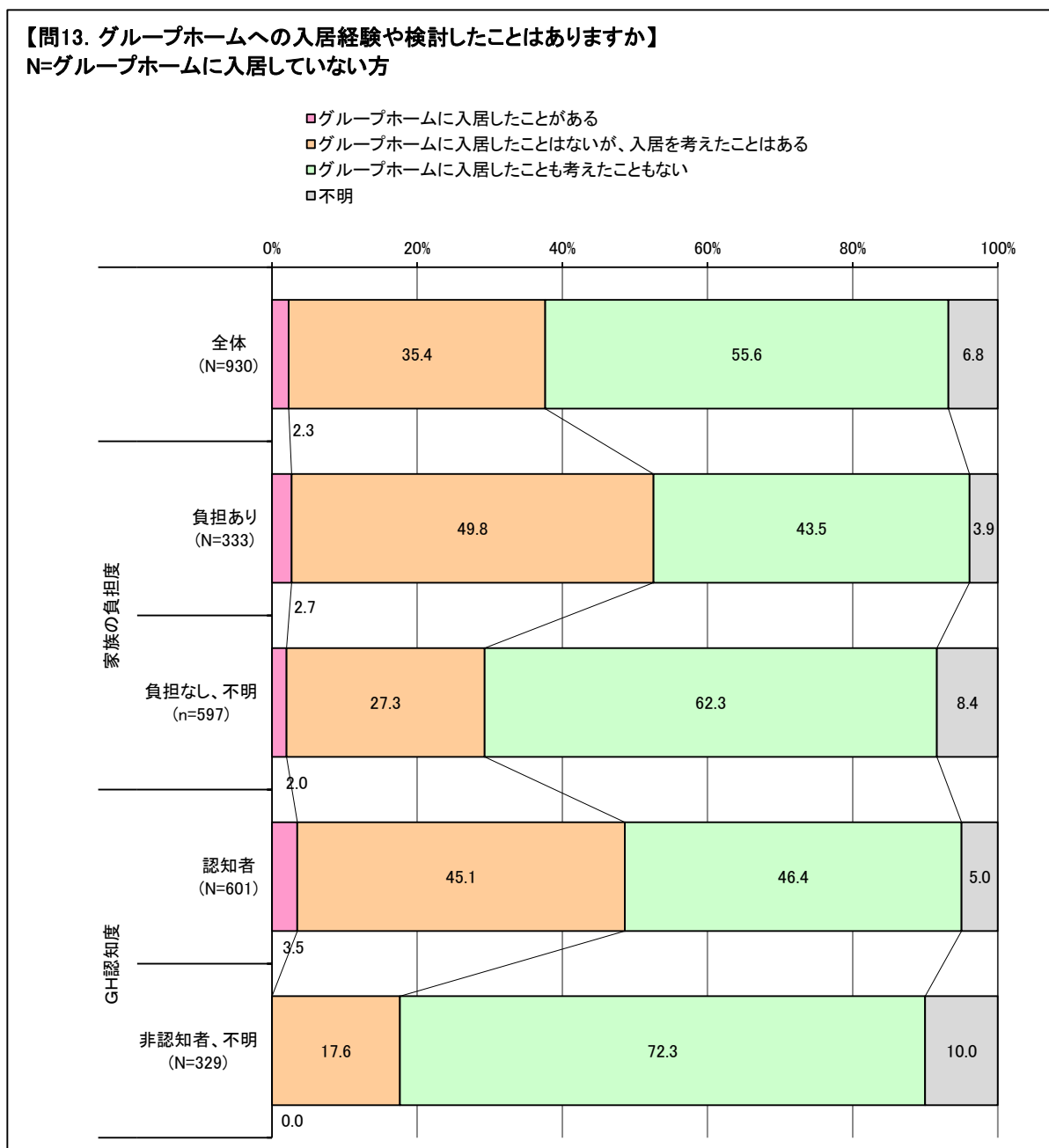
10. グループホームへの入居経験や検討

～ 家族の支援に負担を感じる人の半数強は“入居経験または検討経験あり”～

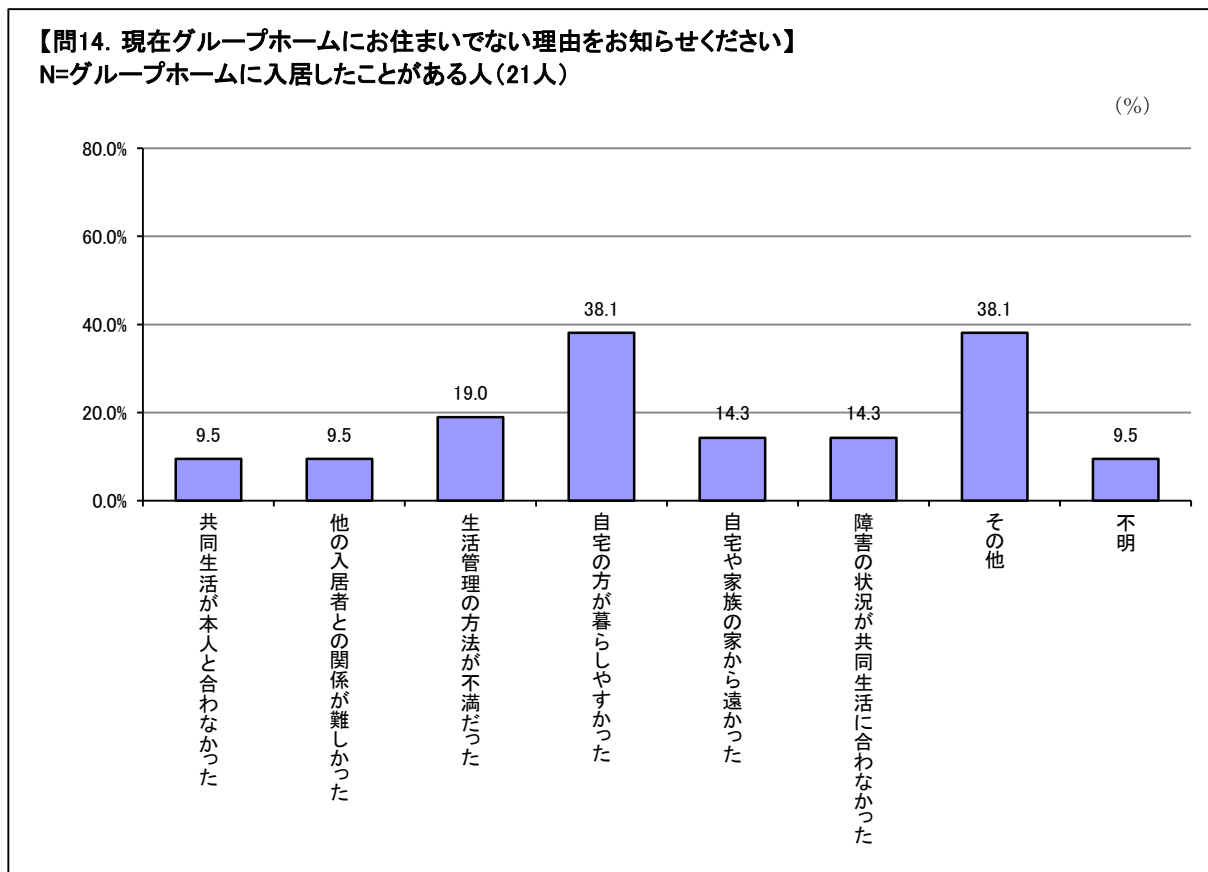
グループホームの入居経験者は2.3%、入居検討経験率は35.4%である。

入居経験又は入居検討経験率を家族負担度別に見ると、「負担あり」層は52.5%と半数強にのぼっている。

グループホーム認知度別に見ると、認知者の48.6%で入居経験又は検討経験があると回答している。



グループホーム入居経験者が“現在住んでいない理由”では、「自宅の方が暮らしやすかった」が最も多く、「自宅や家族の家から遠かった」「障害の状況が共同生活に合わなかった」がこれに次いでいる。



11. グループホームへの入居を検討後、入居していない理由

～ 「入居現在検討者」が過去に検討後、入居していない理由は
1位「空きがない」が半数、「自宅や家族の家から遠い」が2割～

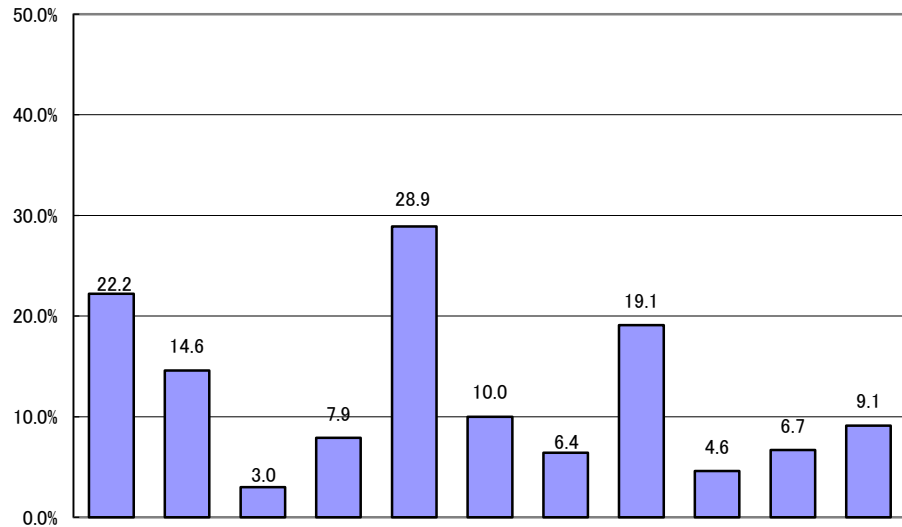
過去にグループホームへの入居を検討したが、今は入居していない理由の上位にあがるのは、1位「検討の結果、自宅生活の方がよい」(28.9%)、2位「空きがない」(22.2%)、3位「まだ先でよい、急がない」(19.1%)である。この中で、「入居現在検討者」では、「空きがない」(47.5%)、「自宅や家族の家から遠い」(21.8%)が上位にあがっている。

また、家族負担度別に見ると、「負担あり」層では、1位「検討の結果、自宅生活の方がよい」(27.7%)と2位「空きがない」(27.1%)がほぼ同率で並んでいる。

【問15. グループホームへの入居を検討後、入居していない理由をお知らせください】

N=グループホームに入居したことはないが検討したことがある人(329人)

(%)



	N	空きがない	グループホームでの生活が本人と合わない	入居条件や入居資格に不満を感じた	入居時費用や生活費が高い	検討の結果、自宅生活の方がよい	自宅や家族の家から遠い	本人が望まない	まだ先でよい、急がない	良く知らない、情報がない	その他	不明	
全体	329	22.2	14.6	3.0	7.9	28.9	10.0	6.4	19.1	4.6	6.7	9.1	
家族負担度	負担あり	166	27.1	15.7	4.2	11.4	27.7	11.4	8.4	15.7	5.4	5.4	10.2
	負担なし、不明	163	17.2	13.5	1.8	4.3	30.1	8.6	4.3	22.7	3.7	8.0	8.0
	「負担あり」-「負担なし」		9.9	2.2	2.4	7.1	-2.4	2.8	4.1	-7.0	1.7	-2.6	2.2
GH認知度	認知者	271	24.4	16.2	3.0	9.2	28.0	11.8	7.0	19.6	4.8	6.3	6.3
	非認知者、不明	58	12.1	6.9	3.4	1.7	32.8	1.7	3.4	17.2	3.4	8.6	22.4
	「認知者」-「非認知者」		12.3	9.3	-0.4	7.5	-4.8	10.1	3.6	2.4	1.4	-2.3	-16.1
GH入居検討度	現在入居者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在検討者	101	47.5	10.9	4.0	5.9	18.8	21.8	5.9	10.9	5.9	8.9	4.0
	将来検討者	188	11.2	13.3	2.7	8.5	33.0	4.8	7.4	26.6	3.7	5.9	9.0
	不明者、不明	40	10.0	30.0	2.5	10.0	35.0	5.0	2.5	5.0	5.0	5.0	22.5
	「現在検討者」-「全体平均」		25.3	-3.7	1.0	-2.0	-10.1	11.8	-0.5	-8.2	1.3	2.2	-5.1

12. グループホームへの入居を検討したことがない理由

～「家族が支援可能」に次いで「どんなところか情報がなく検討しにくい」があがる～

グループホームへの入居を検討したことがない理由としては、「家族が助けることで生活ができる」(69.8%)が圧倒的に高く、「どんなところか、情報がなく検討しにくい」(27.3%)がこれに続いている。

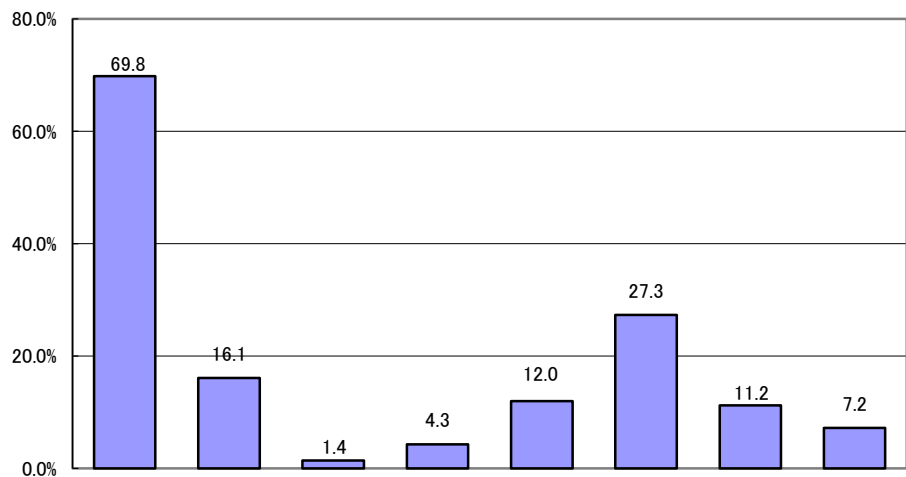
グループホーム非認知者の中では「どんなところか、情報がなく検討しにくい」が39.9%と4割近くにのぼっている。

グループホーム入居現在検討者は、「どんなところか、情報がなく検討しにくい」(36.4%)、「他の人と一緒に住む事がむずかしい」(27.3%)、「空気がないから入れないと諦めている」(9.1%)をあげる割合が他層に比べて高い。

【問16. グループホームへの入居を検討したことがない理由をお知らせください】

N=グループホームへの入居を考えたことがない人(517人)

(%)



	N	家族が助けることで生活できる	他の人と一緒に住む事がむずかしい	空気がないから入れないと諦めている	入居条件や資格にあてはまらない	費用が高そう	どんなところか、情報がなく検討しにくい	その他	不明	
全体	517	69.8	16.1	1.4	4.3	12.0	27.3	11.2	7.2	
家族負担度	負担あり	145	66.9	19.3	1.4	5.5	15.2	34.5	13.8	6.9
	負担なし、不明	372	71.0	14.8	1.3	3.8	10.8	24.5	10.2	7.3
	「負担あり」-「負担なし」		-4.1	4.5	0.1	1.7	4.4	10.0	3.6	-0.4
GH認知度	認知者	279	76.7	15.1	1.8	3.9	11.1	16.5	14.7	6.1
	非認知者、不明	238	61.8	17.2	0.8	4.6	13.0	39.9	7.1	8.4
	「認知者」-「非認知者」		14.9	-2.1	1.0	-0.7	-1.9	-23.4	7.6	-2.3
GH入居検討度	現在入居者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在検討者	11	54.5	27.3	9.1	0.0	0.0	36.4	18.2	9.1
	将来検討者	214	75.7	12.6	2.3	3.3	11.2	33.6	10.7	4.2
	不明者、不明	292	66.1	18.2	0.3	5.1	13.0	22.3	11.3	9.2
	「現在検討者」-「全体平均」		-15.3	11.2	7.7	-4.3	-12.0	9.1	7.0	1.9

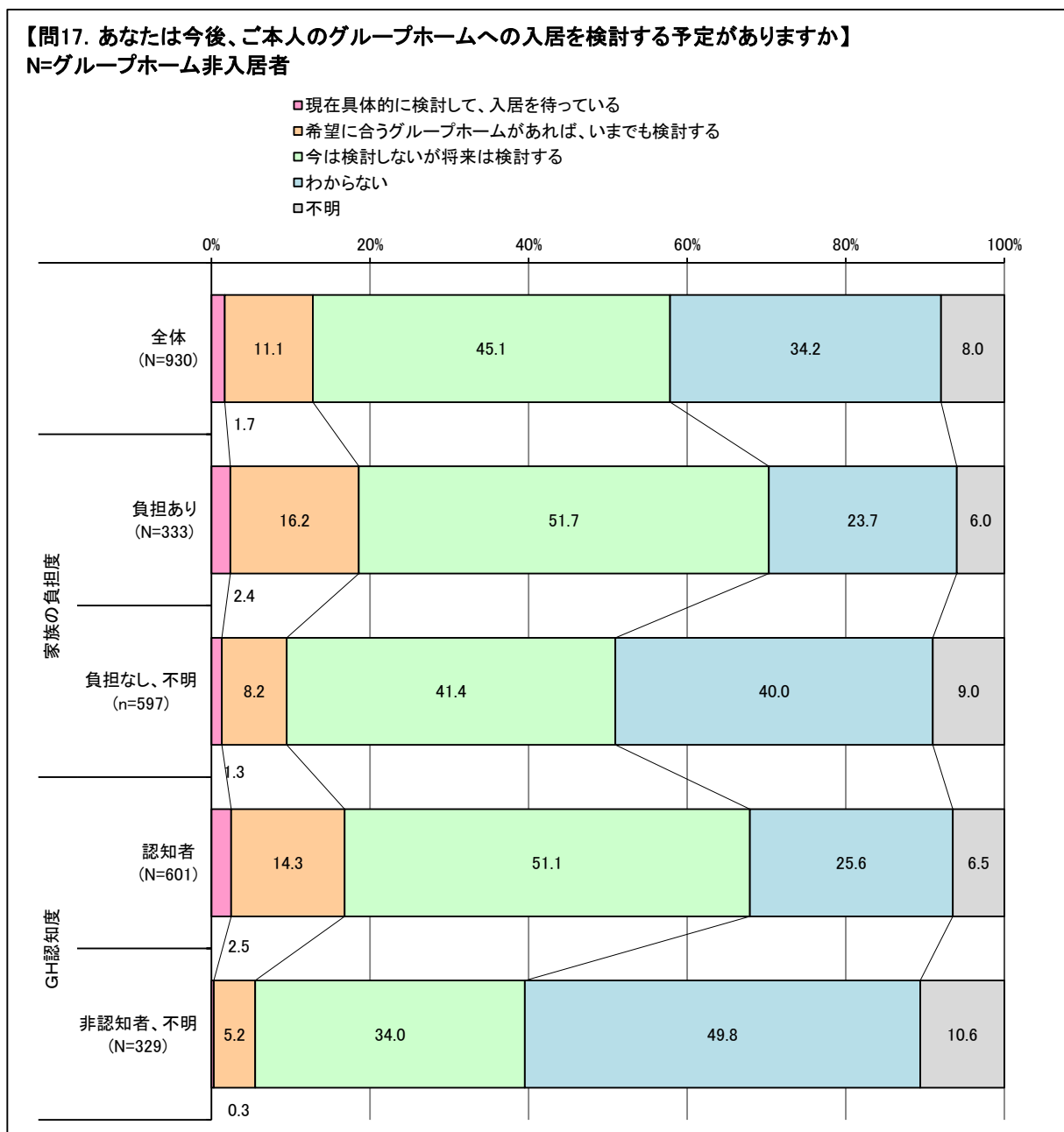
13. グループホームへの入居検討

～ 家族支援に負担を感じている層の2割弱が“いま、入居を検討中”～

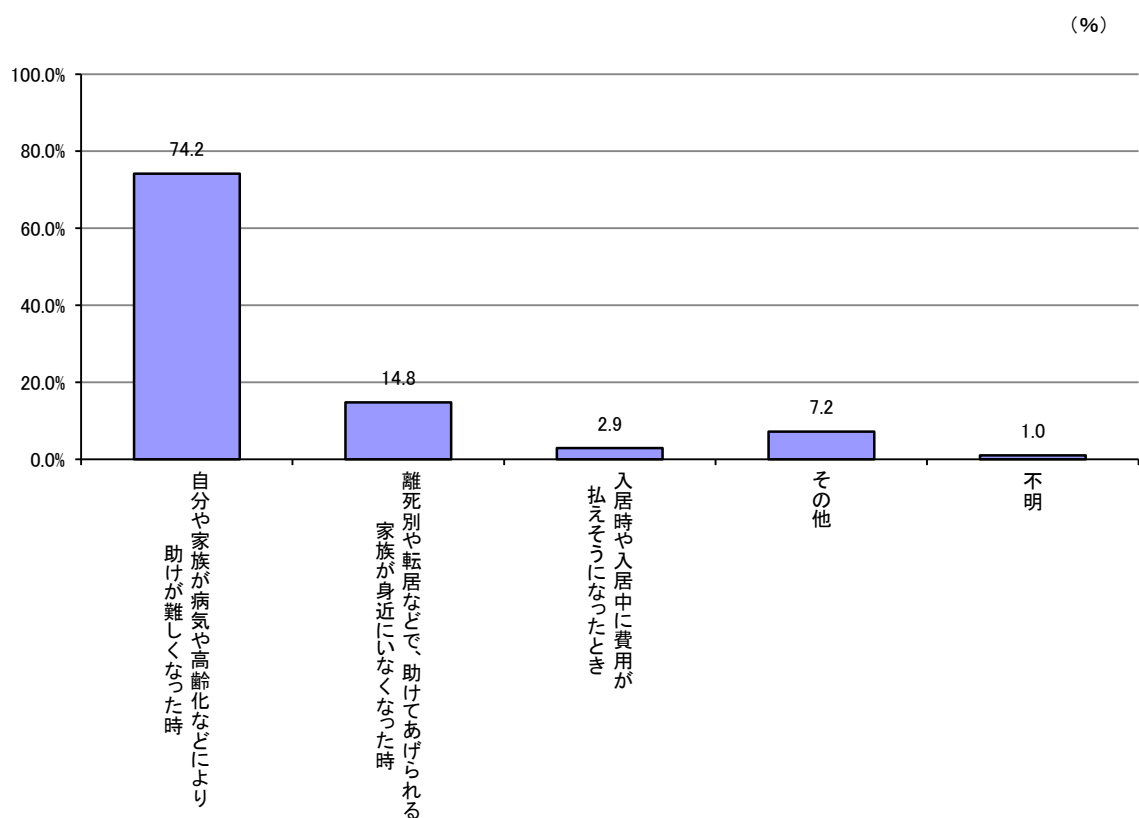
今後、ご本人のグループホームへの入居を検討する予定について聞いた回答では「今は検討しないが将来は検討する」(45.1%)、「わからない」(34.2%)が約8割であり、明確な意志決定ができない人が多い。

家族負担度別に見ると、「負担あり」層では、「現在具体的に検討して、入居を待っている」(2.4%)、「希望に合うグループホームがあれば、いまでも検討する」(16.2%)を合わせて約2割の人が具体的な入居意向を示している。

入居将来検討者の検討時期としては、「自分や家族が病気や高齢化などにより助けが難しくなった時」(74.2%)が最も多い。



【問18. あなたが将来、ご本人のグループホームへの入居を検討する時期はいつ頃でしょうか】 N=グループホームへの入居を将来検討する人(419人)

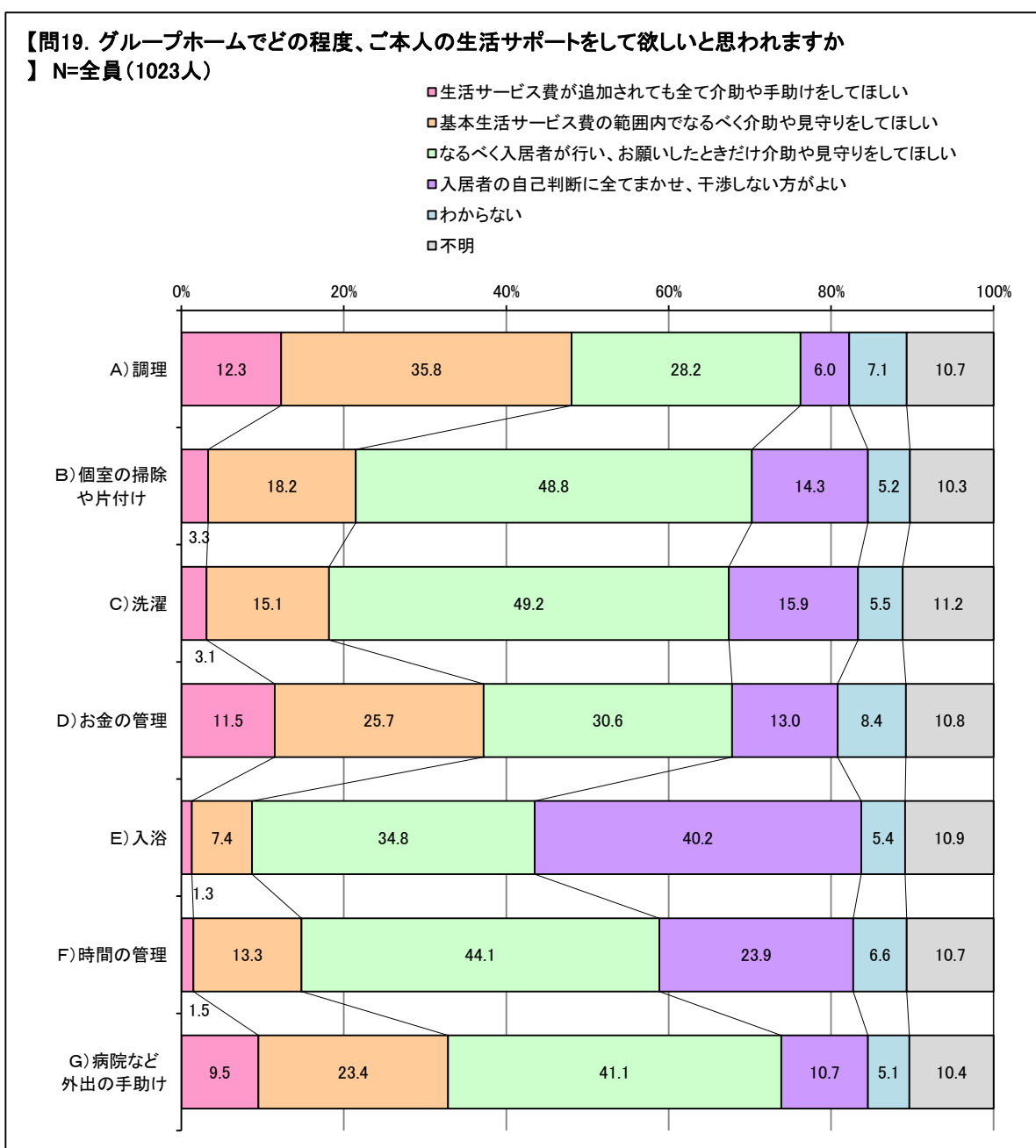


14. グループホームに期待するサービス

～ 「調理」「お金の管理」「外出支援」を希望する割合が高い～

「グループホームで希望するサービス」として、「生活サービス費が追加されても全て介助や手助けをしてほしい」希望が高いのは「調理」(12.3%)、「お金の管理」(11.5%)、「病院など外出の手助け」(9.5%)、「基本生活サービス費の範囲内でなるべく介助や見守りをしてほしい」も同様に「調理」(35.8%)、「お金の管理」(25.7%)、「病院など外出の手助け」(23.4%)である。一方で「入浴」は「入居者に任せてほしい」意向が40.2%と高い。

現在入居検討者の希望率(「生活サービス費が追加されても全て介助や手助けをしてほしい」+「基本生活サービス費の範囲内でなるべく介助や見守りをしてほしい」)を全体と比較すると、調理(全体との差19.1%)、お金の管理(同20.0%)、「外出の手助け」(同17.7%)へのニーズが特に高い。



【属性別】「全て介助を希望」+「なるべく介助希望」%

	全体	現在入居者	現在検討者
A) 調理	48.1	61.3	67.2
B) 個室の掃除や片付け	21.5	30.1	31.1
C) 洗濯	18.2	18.3	26
D) お金の管理	37.2	51.6	57.2
E) 入浴	8.7	15.1	12.6
F) 時間の管理	14.8	17.3	22.7
G) 病院など外出の手助け	32.9	50.6	49.6

15. グループホームで特にサポートしてほしいこと

～ 「金銭」「健康」「調理」と並んで、人間関係や精神面の見守りやサポートに関する項目が上位にあがる ～

グループホームで特にサポートしてほしいこと（自由回答を複数回答方式にキーワード分類。回答者 220 人）の中では、「金銭管理」（38 人）、「健康管理」（36 人）「家事支援や身の周りの世話」（26 人）と並んで「人間関係、コミュニケーションのサポート」（37 人）、「気づきや見守り、声掛け」（21 人）、「自主性や本人の意思の尊重」（20 人）、「情緒安定、精神的サポート」（20 人）、「傾聴、話をゆっくり聴く」（17 人）など、精神的なサポートや自立性の尊重を求める項目が多くあがっている。

※自由回答を複数回答方式のカテゴリーに分類（回答者数 220 人）

1 位	金銭管理	38 人 (17.3%)
2 位	人間関係、コミュニケーションのサポート	37 人 (16.8%)
3 位	健康管理	36 人 (16.4%)
4 位	家事支援や身の回りの世話	26 人 (11.8%)
4 位	独立性、自立支援	26 人 (11.8%)
6 位	食事の管理、調理支援	23 人 (10.5%)
7 位	気づきや見守り、声掛け	21 人 (9.5%)
8 位	自主性や本人の意思の尊重	20 人 (9.1%)
8 位	情緒安定、精神的サポート	20 人 (9.1%)
10 位	傾聴、話をゆっくり聴く	17 人 (7.7%)
11 位	基本生活の支援（入浴、排せつ、清浄）	14 人 (6.4%)
11 位	GHのことが分からない、もっと情報提供をしてほしい	14 人 (6.4%)
13 位	公的書類や手続きのサポート	12 人 (5.5%)
14 位	安全性の確保、危機管理	11 人 (5.0%)
15 位	家族や地域との連携、連絡	10 人 (4.5%)
16 位	外出、通勤支援	9 人 (4.1%)
17 位	時間管理、スケジュール管理	8 人 (3.6%)
	その他	26 人 (11.8%)

※「特にない」「わからない」など、意見がない人は除く

【意見抜粋】

- ・ 人間関係(孤立しないように目を配ってほしい)。体調の変化(言葉がないので、声をかけて聞いてほしい)。書類の提出などは、本人に確認しながら作成してほしい。
- ・ 生活リズムを作る(保つ)こと。本人はできるつもりでいるけれども実は一人ではできていないことが多いので、それとなく見守り配慮声かけがほしい。うまく人と話せないで、間に入って話を聞いてやってほしい。
- ・ 最初に入居する時に、本人の希望をしっかりと聞いてほしい。出来るだけ本人の希望に沿ってほしいが、決められたルールがあれば最初にきちんと納得いくまで説明してほしい。(一度決めたルールを変更することが難しいため)

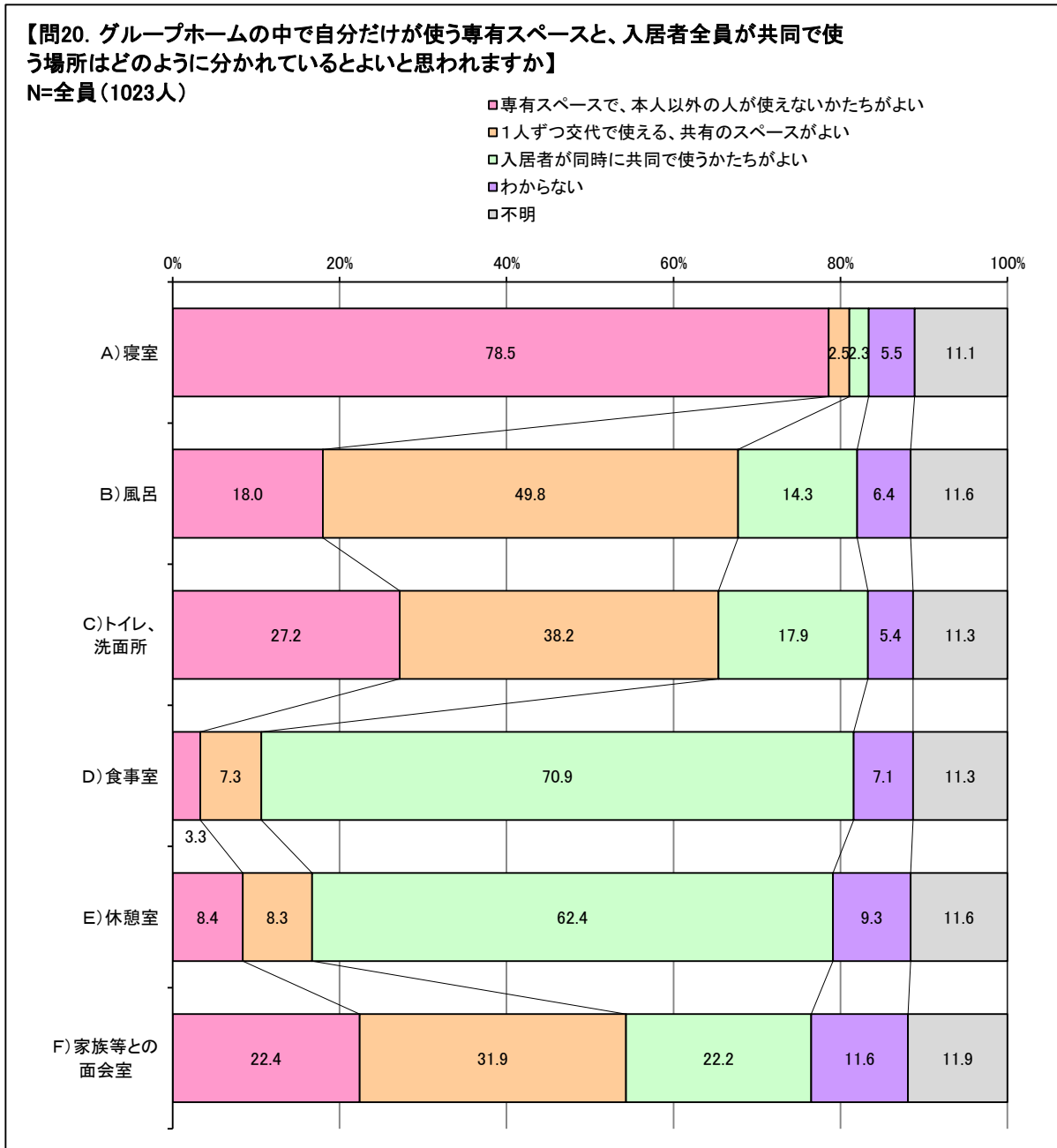
- ・ それぞれ、障害は違うと思うので、うちの子の場合、わかっているようでわかっていないことがあるので、メモ書きをして、確認してほしい。何事もやっけてしまいますが、声かけをしてほしい。ルールは守れると思いますが、対人は難しい時があるので、よく見守ってほしい。
- ・ ホーム内の人や、地域の人などできるだけコミュニケーションがとれる機会を作っていただけたらと思います。
- ・ みんなと団体生活をするため、仲良くできる状態をサポートしてほしい。なるべく本人が自立できることは、見守り、介助を必要とする時は、サポートしてほしいが、個人差はあると思います。
- ・ 健康面、生活面だけでなく、精神面のサポート。自分の思いなど表現することが難しく、コミュニケーションが上手くとれないため、表情にはでなくても心の中ではつらいことがいっぱいあると思うため。
- ・ 障害者同士の共同生活なので、入居所同士のトラブル等も多々あると思いますが、障害者という事を十分に理解していただいた上で仲裁していただいたり、その他食事など生活面での常識的な対応(普通に考えて理不尽でない対応)をしていただきたい。障害者であっても一人の人間として存在を尊重した対応、援助、介助、見守りを希望します。
- ・ 世話人の方に負担が大きくなってしまうと穏やかな生活が厳しいと思います。本人たちと、コミュニケーションを上手に持てる事、家族の干渉の具合等、世話人の方へのサポートも大切だと思います。また、本人たちも入所前に多少の心づもりを持たないと長く続かないと思います。家族の考えが切り替え出来ないと互い辛いので、そちらのサポートも必要だと思います。
- ・ 本人の意思が尊重され、他の人と仲良く暮らすことの楽しく、何より専門的、安心できる支援して頂けることを期待したい。
- ・ 本人の意思や困り事など辛抱強く細かい所まで聞いてほしい。他人と話しをする事が下手な子供の特徴としての気持ちです。
- ・ 会社との連絡や病気、ケガ等の対応等について、親がやることと、グループホームにお願いすることの線引きがあいまいでとまどうことも少なくない。日ごろの連携が大切だと思う。
- ・ 一人で生活するときは、見た目がきちんとしているか服装の着合わせや季節感を指摘してほしい。口腔内の衛生や身体の清潔感が保てるようにしてほしい。心身の健康が保てるよう、栄養バランスや表情などチェックしてほしい。
- ・ 体温調節が難しいため、他の人と同室は難しい。そういう人のために個室があったらよい。
- ・ 丁寧な見守り。親身な心配り。心と体の健康が保てるサポート。本人の意思に沿ったサポート。
- ・ (調理)家でも出来ないのにグループホームで介助してもらうのみでは将来が心配。グループホームから家へ戻して少しでも自分で何か作って食べる様訓練した方がいいか、悩む所です。
- ・ 調理は、家でも教えているが、グループホームでも教えてほしい。ガスの始末、後片付けなども。風呂は長く入っていても、洗髪をしなかったりするので、そういう所を見守りしてほしい。服のコーディネートも教えてほしい。
- ・ 食事の栄養面でのサポートをお願いしたいと同時に自分で調理できるような指導。個室の掃除や片付けの具体的な方法。こまめな入浴や髪や体の清潔の重要性を教えると共に、自立に向けての手助けをお願いしたい。
- ・ 本人が一人で生活するための能力は備わっていないので、全ての事に手助けをしてほしい。日中は会社のスタッフに見守られると思うので、帰宅後から出勤までの見守り、休日の生活について介助をお願いしたいです。親亡き後、何らかの事情でグループホームでの生活が困難になった時、その時のサポートもすべてお願いしたいです。
- ・ ありふれた話でもよく聞いてやってほしいです。食事も食堂でもよいが、ひとりで部屋で食べても良いにしてほしい。特に犬が好きなので、何頭か犬を施設で飼って欲しいです。
- ・ ある程度は自立しているので、他者からみてこれは？と思ったときには声かけをしてほしい。命令口調で話されるのは嫌がる。自然体の声かけで。
- ・ グループホームに、個人の部屋があるのかわかりませんが、できれば自分の部屋があって、静かにひとりで好きなことをする時間ももてれば良いような気がします。

- ・ その都度(内容に応じて)本人に相談(意見を聞きながら)しながら、本人が判断できることは本人に任せてもらって、理解しにくい所は分かるように(本人ができるように)サポートしてほしい。
- ・ 学生や子供ではないので、自分でできる事を上手に見極めて、社会人として自立できるよう、的確なサポートをしていただきたいと思います。
- ・ 個人のプライベートを大切にするため、個室やテレビや趣味などが楽しめる(家族と同じ生活に近い感じ)安心できる空間や特に会話のできるグループホーム(少人数)
- ・ 将来の事を考えて、複数のグループホームを見学したり、運営に関わったりしましたがなかなか中軽度の障害をもつ方に対応するグループホームがありません。利用者の気持ちを尊重しつつ、時には厳しく、優しくサポートしていただきたいです。
- ・ 病院や、役所への手続きの際には必ずサポートして欲しい。日常生活についてもある程度できますが、声かけ等がなければ、自発的には行わないので、支援が必要です。心配しております。
- ・ 世話人の方の接し方を少し考えてほしい。一方的に言う事を聞かせるのではなく理由を聴いてアドバイスしてほしい。本人も感情があるので不満を感じる。
- ・ 本人の自由意志を尊重しながらサポートしてもらえたら、本人不安なく暮らせたら安心して入居させたい。
- ・ 精神的に不安定になるとイライラして人の事が気になったりしてしまうので、そんなときは話を聞いたりしてサポートしていただきたい。調理が不得手です。
- ・ どのくらい自分で出来るか今はよくわからないですが、一人で決めることが苦手であり、たまにパニックになったりするので、いろいろ相談にのってほしいなと思います。
- ・ 本人の話を聞いて頂き家庭的な雰囲気だったらいいのにとと思います。楽しいと思える場所、本人の居場所がちゃんとある事を希望します。
- ・ 自立支援のために必要な書類や、その時期のスケジュール管理をサポートして頂きたいと思います。
- ・ 親としては、世話人さんが不在となる夜間等の利用者間のトラブルなどに対処してもらうために、1日ケアホームのように、費用が増えても24時間職員の方が常駐しているのが良いと思う。
- ・ 今、この世の中で、様々な事件がニュースで流れています。自分の子供が同じようなことになったらと思います。この子達はとてもピュアで人を疑うことなどありません。ですから、どうしたらいいのかわからない。
- ・ 災害や停電などの時の判断や行動が難しいと思うので、介助や見守りをしてほしい。通勤時の事故等の対応もしてほしい。
- ・ 悲惨な事件や事故がおこらないように高度な職員さんを信頼できる方がいてほしいです。そのための費用は仕方ないので、介護、支援者の質を上げてほしいです。今は何も信頼できない。
- ・ 本人は就労しています。ホーム側は会社や家庭との連携をしっかりと取ってほしいです。(何か問題が起きたとき)
- ・ 楽しい事(外出して食事、飲み会、映画等)だけをサポートとしてやることだけでは、施設、グループホームも一緒。個人が、家族と会話をし、楽しみを共有するという様な形が望ましいと思ってます。
- ・ 世話人さんと家族が気兼ねなく連絡を取り合う事ができる環境。(本人から伝える事ができないため)
- ・ 仕事(朝7時から夕方6時半頃まで)から帰って、入浴、食事などの時間の過ごし方について。

16. グループホームのスペース区分や交流についての希望

～ 寝室は専用、食事室と休憩室は共同使用を希望 ～

グループホーム内の専用スペースと共同使用の分かれ方に対する回答では、「寝室」は専有が78.5%と非常に高く、「1人ずつ交代で使う共有スペース」希望は、「風呂」(49.8%)、「トイレ、洗面所」(38.2%)、「家族等との面会室」(31.9%)、「食事室」(70.9%)、「休憩室」(62.4%)は「同時に共同で使用」を望む割合が高い。

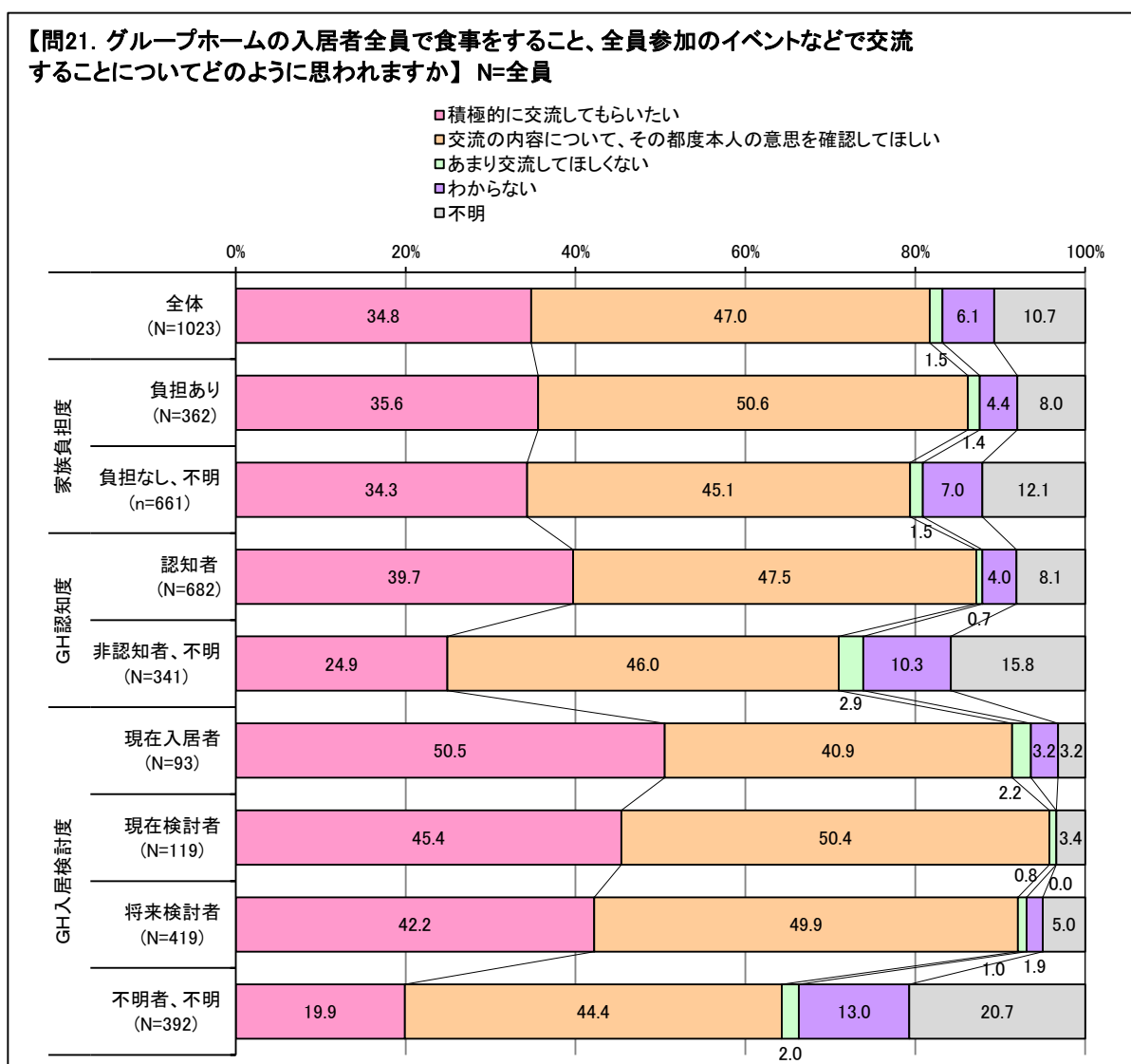


17. グループホームでの交流について思うこと

～ “交流は本人の意思を尊重してほしい” と考える割合が半数近くにのぼる ～

グループホームの入居者全員で食事をする事、全員参加のイベントなどで交流することについての問いに対しては、「交流の内容について、その都度本人の意思を確認してほしい」が47.0%と半数を占め最も多い。

家族負担度別に見ると、「負担あり」層（50.6%）、グループホーム検討度別に見ると、「入居現在検討者」（50.4%）では「交流の内容について、その都度本人の意思を確認してほしい」が他層に比べて高い。



18. グループホームやアンケートに答えた感想

※自由回答を単数回答方式のカテゴリーに分類（回答者数315人）

1位	グループホームへの期待や満足	66人(21.0%)
2位	将来の入居に向けての検討、意識が高まった	59人(18.7%)
3位	グループホームのことがよくわからない、もっと知りたい	54人(17.1%)
4位	グループホームに対する不安や懸念	41人(13.0%)
5位	グループホームへの要望	39人(12.4%)
6位	アンケートについて	30人(9.5%)
7位	グループホームを利用しない	26人(8.3%)

※「特にない」「わからない」など、意見がない人は除く

【意見抜粋】

《1位 グループホームへの期待や満足》

- ・ 本人の給料でグループホームでの生活が余裕をもってできるようになると安心です。また、困った時に近くに相談できる人がいる事は大切だと思います。今後、グループホームの待機期間ができるだけ短くなることを希望します。
- ・ 同じ程度の障害を持つ人たちと心を通わせながら、且つ、ある程度の自由と干渉されない空間も必要で、楽しく過ごせるホームがいいですね。よろしく願います。がんばって下さい。
- ・ 近隣では女性のためのグループホームが少ない状態です。難しいとは思いますが、女性のための生活支援が増えることを望みます。
- ・ グループホーム内のルールや約束事は各々それぞれかと思いますが、説明会でお話しされたような“自由度の高い”グループホームを理想に思います。
- ・ グループホームにしても、何にしても安心できる場所で、リラックスできる環境であってほしい。関わるスタッフの質が大切！閉鎖的でなく、透明性を求める。そして、長期に存続できる、体力のある施設であってほしい。
- ・ グループホームに大変興味があります。完全な福祉ホーム、手直しをしたサテライト型、セキスイさんのように家賃式でアパート型など、積極的に学ぶ場に出ています。エフピコさんの方でこういった(障害者について考える)機関があることにとても感謝いたします。
- ・ グループホームのニーズ調査、本人や親の考えを聞いてもらえて有難く思いました。グループホームは出来るだけ小規模で地域に根差したものを希望します。
- ・ グループホームは、生活訓練の場と思っています。できそうなことは練習して、ムリなことは、サービスをつかう。その見極めをして、支持付きの一人暮らしに移行出来たら良いと考えています。
- ・ 本人の気持ちを優先したうえで、社会的に必要なスキルは、社会の中で身につけてほしいと思っているので一般の方の中で、本人が苦手を受け入れながら他と助け合って生きていけることを考えてほしいです。
- ・ 一人暮らしと共同生活の「いいとこどり」のようなグループホームができれば理想かと思います。「本人にあったところを選ぶことができる」というくらい、増えてほしいと思います。
- ・ 一日の三分の一は仕事、三分の一はグループホーム、三分の一は就寝というのが現実です。三分の一のグループホームでの生活は「したいことをする」「できる事をする」「みんなと楽しい時間を過ごす」・・・大事なグループホームだと考えております。

- ・ 実母が、現在、サービス付き高齢者住宅に入っています。各部屋は、学生のワンルームマンションのように、お風呂、トイレ、洗面所があり、カギで自分のプライバシーを守れます。食事は、ラウンジで3食頂く人、2食頂いて、他は、外から買ってくる人様々です。息子は自閉症で、これまでのグループホームのように、他の人の顔が見える部屋の作りだと、ストレスがたまります。食事だけ、みなさんと仲良く頂いて、それが終わったら、自分の部屋で自由に過ごす・・・！サービス付き高齢者住宅のようなそんなグループホームを作って頂けたら嬉しいです。
- ・ 色々な事件もあるから不安な面もあるが、しっかりした専門の人がサポートして障害を理解してくれる人が多いグループホームなら安心。
- ・ 同じ職場で働くひとたちが、一緒に暮らせるようなグループホームなら安心して過ごしていけると思っております。実現を心待ちにしております。よろしく願いいたします。
- ・ 今のところ近くのグループホームはなく、身近に感じた事がない。遠方の事としての認識しかないし、近々建設される話もない。将来への不安は尽きないが、心根の良い子がいて縁あって、家族を持たたら一番いいし、安定した生活を望む。
- ・ 社会のことをよくわかっていない本人をもう少し自分のそばにおいておきたい気持ちと、自分が動けるうちに本人の新しい生活を身につけてやりたい気持ちがあります。本人の事を考えると早く新しい生活が始まれば、私も見守る事ができるし、本人も慣れていくと思うので安心です。
- ・ 障害を持っていても、その人らしく地域の中で暮らしていけるグループホームの開設で暖かい支援をうけて、自立した生活ができるようになれば、とてもいいと思います。
- ・ 親一人、子一人のため、いつも不安に思いながら生活しています。グループホーム、障害者施設など、企業として経営して頂ければ、本当にありがたい事です。親がいなくなっても生きていけるような社会になってもらいたいです。(親子で入れる施設があると良いなと思っています)
- ・ 前向きな活動に感謝申し上げます。できれば、会社運営のグループホームがあれば、会社、生活の把握ができてよいと思うのです(プライバシーもなくなるから本人は嫌かなとも思う事もありますが)。本人にも家族にも意思確認して頂けありがとうございました。
- ・ 本人が入居して1年10か月になり、在宅時と比較して自立及び対人関係もうまくこなせるようになりました。将来に向け、本人の意思を尊重して見守ってゆきたいと思います。
- ・ 現在、特例子会社で働いていますが、子供の将来のことを考えると、会社の社宅や寮のグループホームがあれば助かります。(会社から通える範囲にグループホームを建設してほしい)

《2位 将来の入居に向けての検討、意識が高まった》

- ・ 今まで考えた事がなかったので、具体的にアンケートに答えて少し身近に思えた。将来、何か悩んだり困ったりした時にもう一度考えてみたいです。
- ・ グループホームは、まだ先の事だと思っていましたが、少しずつ考えていく必要があると思いました。
- ・ 一般の方の高齢になって利用するのと、どのくらい違ってくるのか想像がつかず、アンケートに答えるのは少し難しかった。障害者なら何才から入れるのか？高齢に(一般の人の様になった)時だけでなく親が早く亡くなった場合希望があれば入れるような施設もあればよいと思う。
- ・ 家族がサポートできるうちは、自宅で生活していきたいですが、家族がサポート困難になった時は、グループホームでサポートして頂けるとありがたいので、このようなアンケートはありがたいし、将来的に希望者がグループホームに入居できるよう今後グループホームが増えてくることを願っています。

- ・ 近い将来、必ず直面する問題であり、自分たちもいろいろと学んだり情報を得たりして、真剣に考えていかなければならないと思っています。自分たちが住んでいる地域にはグループホームがないので、そういった場合、どうしていくとよいのか、今からできることを助言してもらえたりする機関や集いの場が身近にあるといいなと思いました。
- ・ 家族の助けが不可能になった時を考えると、自分に合ったグループホームをさがすタイミングと、早くから利用したいところを見つけておく必要があると思うと不安を感じてしまいます。親のかかわり方として、あと10～15年と考えておりますが、今から少しずつでも情報を集めなければならないのかなあと感じています。
- ・ 母親の希望としては、今から入所し、土日家に帰り、徐々にホームの生活に慣れた方が、今後親に何かあった時、柔軟に対応できると思います。この機会に本人、家族で話し合いたいと思います。

《3位 グループホームのことがよくわからない、もっと知りたい》

- ・ 今すぐの入居とかは考えてはませんが、将来的には必要になってくるのかなと思います。詳細が不明なところもありますし、情報収集が出来る場(体験者の話や勉強会など)があれば参加してみたいと思います。
- ・ グループホームについてあまり知らないので、もっと詳しく知りたいと思った。グループホームについて誰に相談したらよいか？高齢者なら地域包括支援センターへ相談というふうに、障害のある人ならここへという場所があればいいなと思った。
- ・ 早く考えないといけないのだが、なかなか行動に移れない。しかし私が元気な時に自立した方がいいとも思う。やはり見学やみんなの意見を聞きたいです。他人に任せるのが少し心配です。
- ・ 今回のアンケートで、本人とグループホームについて話をする機会が持てました。今の職場でグループホームに入所されている方も多いようなので、今後、必要であれば、説明を聞きたいと思います。
- ・ 親が高齢になった場合の不安はたくさんあります。しかし、どうしたらよいか、相談する場所もなく困っていました。グループホームの事を今回のアンケートで初めて知りました(普通の高齢者用のものは知っていましたが)。なんでも良いので、情報もう少し欲しいと思いました。その中から、自分の子に合ったものを選んでいけるよう選択肢も多くなることを望みます。
- ・ 親の年齢も高齢化となってくると(母親)(私は今53才です)自分の身体の不安もでてくるので、そうなると子供のこれから先の心配が耐えられません。子どもが安心して生活できるように、福祉の方も充足されていくといいなと願うばかりです。
- ・ 本人の勤務先で、グループホームについてお話を聞きました。今は、家族がいて、助ける事ができるのですが、家族がいなくなった時、一人では生活は難しいと思うので、グループホームに入れると良いなと思っています。
- ・ 今のところ近くのグループホームはなく、身近に感じた事がない。遠方の事としての認識しかないし、近々建設される話もない。将来への不安は尽きないが、心根の良い子がいて縁あって、家族を持たたら一番いいし、安定した生活を望む。
- ・ 様々なグループホームは見学していますが、実際入居してないのでよくわかりません。詳細まで知ってないので、分からないことも今は見つかっていないと思います。本人が少しでも自立できるよう、でも、仲間と共に入居できて、何かあると少し手助けしてくれる位のサポートが希望です。それが出来るかわかりませんが。

《4位 グループホームに対する不安や懸念》

- ・ グループホームに入居したことで、よい習慣もでき(おふろ→洗濯→ゴミ出しなど)自立していく感じを本人も実感→自信につながる、と家族に甘えていたようにはできないことで、プラスになったことがたくさんありました。ただ時折、事務的な対応に傷つくこともあり、暖かみを少しでも感じられる対応があるとグループホーム生活も息長く続けられるのではと思います。
- ・ 問6のグループホームと障害者施設の違いと選び方がよくわからない。アンケートの中で、費用という言葉が何度か出ていますが、どれほど高いのか不安がある。

- ・ いずれはお世話になりたいと思っていますが、今、兄弟(兄、妹)が家にいるのに息子を先にホームに入れられません。追い出されたと勘違いされそうですのでもう少しの間、様子をみています。兄弟の仲も深くなるよう、心がけています。
- ・ グループホームについては個々にホームのシステム、サービスがあるものと思います。その中で本人が生活に適しているか？入居者として対応できるのか？不安です。まずは、グループホームのシステムについて理解できるような資料が必要です。また、現在の事業所との働くための条件等がどうなるのか？等の不安です。
- ・ グループホームの数が少ないのか、区役所の福祉課に相談しているが、まだ早いですというニュアンスでなかなか積極的に相談に乗ってもらえないです。あまり焦ってニーズにあわないホームに入ることになっても困るなど、思案しているところ です。
- ・ 以前から考えなければとは思っていたのですが、父も60歳になり、本気で検討しなければならないと思いました。ただ、本人は自閉症の特徴もあり、現状へのこだわりが強く、母が少し留守にしても「お母さんいなくなるならい」父が具合悪そうにしても「お父さんいなくなるならい」と、すぐに心配します。今の所、「グループホーム」と聞いただけで、不安定になりそうなので、今回は書かせられませんでした。
- ・ 共同生活ができるか心配しています。今のところよくわかりません。
- ・ 今、家ではのんびりと自由に生活しているので、ホームとのギャップを考えるととても不安です。母と二人暮らしなので、たくさんの人との生活でストレスを感じないか心配ですが、親がいつまでも元気とはかぎらないので、やはりホームを考えないとしかたないかなと思う。
- ・ 自宅から遠いところばかりで、なかなか具体的に考えられせん。親が元気で動けるうちに利用して、将来に備えたいと思っているのですが、本人が他者の行動や言葉に大きく反応してしまい、ほかの利用者さんに迷惑をかけてしまうのも不安です。
- ・ 将来、GHを支えてくださる職員の方を確保できるかを心配しています。昔からある、通勤寮のようなホームに定年までいて、その後は特養などを利用できれば良いのですが・・・
- ・ 親亡き後、グループホームに入れるなら安心です。でも、介助や見守りがあれば、一人で暮らすことも可能に思えます。年金がいつ打ち切られるか分からず(去年、一度取り消されました)経済的に安定しないため、今は就労していますが、こわくて決められないのが本当の所です。

《 5 位 グループホームへの要望 》

- ・ グループホームでのお世話をしてくださる方が、どんな方なのか、平等に見えていただけるか。また、もしトラブルが起きた時は、介入して指導して下さり、解決してサポートして頂けるのか。親がいなくなった後、幸せに暮らせ生きていけるのか。一生懸命文句を言わずに働く姿を見ていると胸が張り裂ける思いです。皆さんがいろいろな考えがあるので、グループホームで生活すれば安心できるという“ホーム”を作って欲しいです。お世話する方、ご指導する方は体力、気力共に想像以上に大変だと思いますが、よろしくお願ひいたします。
- ・ 入居者全員が仲良くできるよう手助けしてもらいたい。お金の管理がとても心配。たまには、何人かで外出できるように、手助けしてもらいたい。テレビ、音楽、CD、テープ等、自由に自分で使えるようにして欲しい。
- ・ 軽度の障害の人達と重度の障害の人達、個人の適性によって対応の仕方を変えてほしい。入居できるようにグループホームの施設を増やしてほしい。車で通勤できない人のため、駅やバス停近くにして欲しい。世話人の人にも知識を身につけてほしい。
- ・ その人、その人で、一人で過ごすことが苦にならない人、一人じゃないと苦な人、大勢で過ごさないと不安になる人・・・様々だと思うので、その人の性格、障がいに合わせて、共有スペースを使うか、専用スペースで過ごす。を相談しながら過ごせたら良いと思う。
- ・ まずは体験をさせてほしい。それから今後の事を考えたいと思います。人間関係が一番難しいのではと考える次第です。障害が同じ程度の人を集めて、ある程度プライバシーを守ってやりたいと思います。
- ・ 基本は単身生活で、困った事が相談できるシステムのある「寮」のような生活様式が可能な住居が望ましいと考えております。

- ・ 通勤に便利な所にグループホームがあればうれしいです。持病もあり、定期的な通院はしていますが、本人の健康管理について心配な点もあるので、その点の対応もどの程度してもらえるか、知りたいと思います。入居費用についても本人が支払い可能な範囲でできるのかどうか気になります。
- ・ 年金(2級でも)の中で、食事代を含めやりくりできるようなグループホームであれば、本人と相談して入居させてあげたい。
- ・ グループホームで働いた経験のある(夕食作り)なかなか個人の話を書く時間がありませんでした。利用者は色々な話をしたいと思われそうです。
- ・ 気の合う方がまちまちであると思うので、個々の性格を職員がまず理解し対応する事が大切と思う。
- ・ 親の私自身老人のグループホームに勤めています。食事の時間、外出等決まりがあり、同じように考えるべきものではありませんが、障害者用のグループホームでは食事もお弁当だと聞いたりします。息子は自分で食事を作れたり、買いに行けたりしますが、単身ではやはり心配で自分でできる事、したい事はして、病気や寂しい時など助けが欲しい時にいつでも見守ってくれる人がいていただければと思います。
- ・ 他人同士での生活になる事を考えると、一緒に生活をする方の情報があればよいと思います。(互いの病気の状態等)スタッフの在中時間など。

《6位 アンケートについて》

- ・ 現状のグループホーム生活を本人が満足しているようなので、親としては安心しており、支援者の方々に感謝している。このようなアンケートを受け、改めて、本人、親の気持ちを表す事が出来て良かった。
- ・ 何度も考えた事があったので、本人ともこういう所ならと少し希望が見えたので、このアンケートに答えることで、少し前進できたかなと思いました。
- ・ 時にはイラ立ち、感情を爆発させる反抗的な態度に、私自身が憔悴し将来への絶望感さえありました。アンケートに答えているうちに、一番苦しみ、つらいのは本人だと気づき、親の私の意識をかえることが必要だと考えさせられました。その時がきたとき、右往左往することなく、一緒に考え、相談にのってくださる場所ができることに期待し少し不安が和らぎました。
- ・ 将来はグループホームを利用するであろうと思いつつも、今はまだ若いので実際は何も考えていませんでした。今回のアンケートをしたことで、グループホームの事について具体的に情報を集め、将来の計画を考えていく必要性を感じました。

《7位 グループホームを利用しない》

- ・ アンケートに答えたところでグループホームに入れるかどうかわからないし、国に働きかけても動いてもらえるとは思わない。失望しか感じられず希望がありません。
- ・ グループホームでの生活の方が援助していただけるので安心感はあると思いますが、今現在持ち家で生活している為、出来れば今のままで自分の事は自分で出来るようになり、安心、安定した生活が出来ればいいかと思っています。
- ・ 他の入居者にひっぱられて自分で生活をする事をあきらめてしまう事が何よりの課題と考えます。いかに独立して生活できるか、その手助けをいかにするかを考えていきます。
- ・ 自分自身が老人ホームに入りたくないと思わないので、本人がグループホームに乗り気でないのは心情的にわかります。同じ敷地内に別棟で兄と住む、ヘルパーさんを頼むなど可能な形を検討していきたいと思っています。地域の親睦団体にも参加していますので、併せて生活の質の向上を図りたいです。

- ・ 親としてはグループホームの入所が一番安心なのですが、本人の意向や生活力を考えたら一度は一人で生活してみても、ダメだったらグループホームに移行したいと考えています。いずれにしても、本人の気持ちを一番に考えていけると良いと思っています。
- ・ 様々な支援をお願いできるので、グループホームは魅力的で親としては安心だが、他の人とのコミュニケーションは、職場の中だけで精一杯。家では、一人の空間、自由にできる空間が必要。ワンルームマンションタイプの拡大を強く望みます。

質問紙

「働いて生きていきたい障がい者のための生活支援について、
彼らが望むグループホームの在り方」ニーズ調査ご協力をお願い

ご家族様用

ご記入に当たってのお願い

1. 調査の回答はご本人様用とご家族様用に分かれております。
ご本人様用はご本人が、ご家族用はご家族がお答えください。
2. ご本人による記入が難しい質問は、ご家族や職場の支援者の方などが回答を聞き取るなどして記入の補助をお願いします。
3. ご本人様用は、**グループホームに住んだことがない方用（水色の用紙）とグループホームに住んでいる・住んだことがある方用（ピンク色の用紙）の2種類**を同封しています。
当てはまる方を選んでご本人に用紙を渡して頂くようお願い致します。
4. ご記入は、鉛筆又はボールペンで記入してください。
5. (○は1つだけ) (○はいくつでも) など回答個数に沿って番号を○で囲んでください。
6. (自由回答) は、自分のお考えをご自由にお書きください。
7. お答え頂く内容はすべて統計的に処理致します。お名前や住所など、個人が特定されることはお聞き致しません。また、ご記入頂いた内容は弊社にて厳重に管理し、調査集計・分析以外の目的に利用することは一切ありません。
8. ご記入頂いた回答用紙は **11月15日（水曜日）**までに、ご本人様用とご家族様用の用紙を同封し、封筒に入れて封かんした後、ポストに投函してください。
(切手は不要です) ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

アンケートについての問い合わせ先

アンケート実施事務局

株式会社ライフパス 〒722-0314 広島県尾道市御調町大町 55 番地 1
電話番号(0848)77-0220 FAX 番号(0848)77-0220 担当：細川・岩井

ご家族様用

※質問文中、障害のあるご家族を「ご本人」と表記しています。

問1. ご本人の生活状況をお知らせ下さい(A)～(I) 各々について1～4のうち○を1つずつ)

	完全に自分でできる	ほぼ自分でできる	やや支援や介助を必要とする	全面的に支援や介助を必要とする
A) 起床、食事、就寝など基本生活の時間管理	1	2	3	4
B) 出勤、始業時間等社会生活上の時間管理	1	2	3	4
C) 食事、身だしなみ、入浴、排せつなどの基本的な生活管理	1	2	3	4
D) 家族に自分の気持ちや希望を伝えたり、相手の気持ちや言いたいことを理解することができる	1	2	3	4
E) 家族以外の人に自分の気持ちや希望を伝えたり、相手の気持ちや言いたいことを理解することができる	1	2	3	4
F) 自分のお金の管理	1	2	3	4
G) 体や心の健康を管理する、体調が悪い時に、病院に行ったり決められたように薬を飲む	1	2	3	4
H) 1人で外出する	1	2	3	4
I) 職場や共同生活の規則や規律を守ることができる	1	2	3	4

問2. 家族にとっての生活支援の負担度をお知らせください。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. かなり負担がある 2. やや負担がある 3. あまり負担がない 4. まったく負担がない |
|--|

問3. (問2で1～2を選んだ方におたずねします。)
どのようなことを負担に思われますか。(自由回答)

問4. 現在、ご本人にどの程度、自立した生活を望まれますか。(○は1つだけ)

1. 在宅で親族の支援を受けながらの生活
 2. 在宅で外部サービスを受けながら親族と同居
 3. 外部サービスを受けながら単身生活
 4. グループホームなど支援を受けながらの共同生活
 5. 障害者施設、介護施設への入所
 6. その他 ()

問5. 将来のご本人について、不安に思うことは何ですか。(自由回答)

問6. 親の高齢化など、家族の事情で経済的・生活面で支援が困難になった時に望む支援は
どのようなものですか。(○は1つだけ)

1. 在宅で外部サービスを受けながら親族と同居
 2. 外部サービスを受けながら単身生活
 3. グループホームなど支援を受けながらの共同生活
 4. 障害者施設、介護施設への入所
 5. その他 ()

問7. (問6で1～2を選んだ方におたずねします。)

ご本人に共同生活や施設入所を望まない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 入居準備費や入居中費用(家賃や食費)などが高いと思う
2. 他人との共同生活が難しいと思う
3. 本人が望まないと思う
4. 施設に入居させるのは不安
5. グループホーム・施設のことをよく知らない
6. どんなときも家族が自宅で支援するつもりでいる
7. 1人暮らしができると思う
8. 考えたことがない
9. その他()

問8. (問6で3～4を選んだ方におたずねします。)

ご本人に共同生活や施設入所を望む理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 1人暮らしより共同生活の方が安心
2. 1人暮らしより生活費が安い
3. 家族に負担がかからない
4. 日常的に専門的なサポートが受けられる
5. 将来、在宅でサポートできる親族がいない
6. その他()

問9. あなたはグループホームについて、どの程度知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 具体的な内容について知っている
2. どういう施設かは知っているが、具体的な内容については知らない
3. グループホームという名前を聞いたことがある程度
4. 全く知らない

問10. (現在、ご本人がグループホームに入居している方におたずねします。)

入居に向けての手続きを開始してから実際に入居できるまでの待機期間はどのくらいでしたか。それぞれの□に数字をご記入ください。

年

ヶ月

問 11. 待機期間の長さについて、どう思いましたか。(○は1つだけ)

1. 早かった
2. やや早かった
3. やや長かった
4. とても長かった

問 12. (問 11で「やや長かった」「とても長かった」を選んだ方におたずねします。)
待機期間はなぜ長くなったと思いますか。(自由回答)

問 13. (現在、ご本人がグループホームに入居していない方におたずねします。)
グループホームへの入居経験や検討したことはありますか。(○は1つだけ)

1. グループホームに入居したことがある
2. グループホームに入居したことはないが、入居を考えたことはある
3. グループホームに入居したことも考えたこともない

問 14. (問 13で1を選んだ方におたずねします。)

現在グループホームにお住まいでない理由をお知らせください。(○はいくつでも)

1. 共同生活が本人と合わなかった
2. 他の入居者との関係が難しかった
3. 生活管理の方法が不満だった
4. 自宅の方が暮らしやすかった
5. 自宅や家族の家から遠かった
6. 障害の状況が共同生活に合わなかった
7. その他 ()

問 15. (問 13で2を選んだ方におたずねします。)

グループホームへの入居を検討後、入居していない理由をお知らせください。

(〇はいくつでも)

1. 空きがない
2. グループホームでの生活が本人と合わない
3. 入居条件や入居資格に不満を感じた
4. 入居時費用や生活費が高い
5. 検討の結果、自宅生活の方がよい
6. 自宅や家族の家から遠い
7. その他 (

)

問 16. (問 13で3を選んだ方におたずねします。)

グループホームへの入居を検討したことがない理由をお知らせください。

(〇はいくつでも)

1. 家族が助けることで生活できる
2. 他の人と一緒に住む事がむずかしい
3. 空きがないから入れないと諦めている
4. 入居条件や資格にあてはまらない
5. 費用が高そう
6. どんなどころか、情報がなく検討しにくい
7. その他 (

)

問 17. (現在、グループホームに入居していない方におたずねします。)

あなたは今後、ご本人のグループホームへの入居を検討する予定がありますか。

(〇は1つだけ)

1. 現在具体的に検討して、入居を待っている
2. 希望に合うグループホームがあれば、いまでも検討する
3. 今は検討しないが将来は検討する
4. わからない

問18. (問17で3を選んだ方におたずねします。)

あなたが将来、ご本人のグループホームへの入居を検討する時期はいつ頃でしょうか。
(○は1つだけ)

1. 自分や家族が病気や高齢化などにより助けが難しくなった時 2. 離死別や転居などで、助けてあげられる家族が身近にいなくなった時 3. 入居時や入居中の費用が払えそうになった時 4. その他 ()

問19. グループホームでどの程度、ご本人の生活サポートをして欲しいと思われませんか。

A~Gそれぞれについて、1~5のうち1つずつお答えください。(各項目○は1つずつ)

	助けをしてほしい	生活サービス費が追加されても全て介助や手助けをしてほしい	基本生活サービス費の範囲内であるべく介助や見守りをしてほしい	基本生活サービス費の範囲内であるべく介助や見守りをしてほしい	い、お願いしたときだけ介助や見守りをしてほしい	なるべく入居者が行なうべく入居者が行ない、お願いしたときだけ介助や見守りをしてほしい	入居者の自己判断に全てまかせ、干渉しない方がよい	わからない
A) 調理	1	2	3	4	5			
B) 個室の掃除や片付け	1	2	3	4	5			
C) 洗濯	1	2	3	4	5			
D) お金の管理	1	2	3	4	5			
E) 入浴	1	2	3	4	5			
F) 時間の管理	1	2	3	4	5			
G) 病院など外出の手助け	1	2	3	4	5			

グループホームで特にサポートして欲しいことやご意見などありましたらご記入ください。
(自由回答)

--

問 20. グループホームの中で自分だけが使う専有スペースと、入居者全員が共同で使う場所はどのように分かれているとよいと思われますか。A～Fそれぞれについて、1～4のうち1つずつお答えください。(各項目○は1つずつ)

	ないかたちがよい	専有スペースで、本人以外の人が使えない	1人ずつ交代で使える、共有のスペースがよい	入居者が同時に共同で使うかたちがよい	わからない
A) 寝室	1	2	3	4	
B) 風呂	1	2	3	4	
C) トイレ, 洗面所	1	2	3	4	
D) 食事室	1	2	3	4	
E) 休憩室	1	2	3	4	
F) 家族等との面会室	1	2	3	4	

問 21. グループホームの入居者全員で食事をする事、全員参加のイベントなどで交流することについてどのように思われますか。(○は1つだけ)

1. 積極的に交流してもらいたい 2. 交流の内容について、その都度本人の意思を確認してほしい 3. あまり交流してほしくない 4. わからない

問 22. グループホームについての感想や、アンケートに答えた感想などをご記入ください。(自由回答)

--

～ ご家族様への質問は以上です。ご協力ありがとうございました ～

はたら い しょう しや せいかつしえん
「働いて生きていきたい障がい者のための生活支援について、

かれ のぞ あ かた ちょうさ
彼らが望むグループホームの在り方」ニーズ調査

す
グループホームに住んでいる人・
す ひとよう かいとうようし
グループホームに住んだことがある人用の回答用紙

こた かた
アンケートの答え方について

しつもん ないよう わ とし かぞく しょくば ひと き こた
1. 質問の内容が分からない時は、家族や職場の人に聞きながら答えてください。

か
2. えんぴつかボールペンで書いてください。

こた いただ ひみつ だれ し
3. 答えて頂いたことは、秘密にして誰にも知られないようにします。

なまえ す し き
あなたのお名前や住んでいるところなど、あなただと知られることは聞きません。

か お ようし ふとう い
4. アンケートを書き終わったら、用紙を封筒に入れたあとポストに入れてください。

きって は だいじょうぶ
切手は貼らなくて大丈夫です。

し き
締め切りは、 **11月15日(水曜日)** です。

と あ さき
アンケートについての問い合わせ先

かぶしがいしゃ ひろしまけんおのみちしみつぎちょうおおまち ばんち
株式会社ライフパス 〒722-0314 広島県尾道市御調町大町55番地1

でんわばんごう ばんごう
電話番号(0848)77-0220 FAX番号(0848)77-0220

たんとう ほそかわ いわい
担当：細川・岩井

5. あなたが働いている会社の種類について教えてください。(〇は1つだけつけます)

- | |
|--------------------|
| 1. 就労継続支援A型事業所 |
| 2. 一般企業 (特例子会社も含む) |

6. あなたが1日に働く時間を教えてください。(〇は1つだけつけます)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 4時間30分～6時間 | 2. 6時間30分～8時間 |
|---------------|---------------|

7. 今の会社に入ってから何年働いていますか。□の中に、数字を書いてください。

	ねん 年
--	---------

8. あなたは会社まで、どのようにして行っていますか。(〇は1つだけつけます)

- | |
|------------------|
| 1. 自分ひとりで行く |
| 2. 家族が車でおくってくれる |
| 3. 会社の送迎バスに乗って行く |

9. あなたの1か月のお給料は手取りでいくらですか。(〇は1つだけつけます)

※手取りとは、銀行の通帳に入るお金のことです。お給料から税金などを引いた金額です。

月によって違う方は、一番受け取ることが多い金額をお答えください。

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1. 6万円より少ない・6万円台 | |
| 2. 7万円台・8万円台・9万円台・10万円台・11万円台 | |
| 3. 12万円より多い | 4. わからない |

10. あなたは障害基礎年金しょうがい き そねんきんをもらっていますか。(〇は1つだけつけます)

1. もらっている 2. もらっていない

11. 困った時に相談こま と き そうだんするところはどこですか。(〇は1つだけつけます)

※家族以外に相談かそく いが い そうだんできる場所ばしょ おしを教えてください

1. 相談そうだんするところはない・相談そうだんしたことがない
2. 地域障害者職業センターちいきしょうがいしゃしよくぎょう
3. 障害者就業・生活支援センターしょうがいしゃしゅうぎょう せいかつしえん
4. 卒業そつぎょうした学校がっこう
5. 市役所しやくしょ・区役所くやくしょ・役場やくば
6. その他た (どんな人ひとや場所ばしょですか)

12. 将来しょうらいの生活せいかつについて不安ふあんに思うおもことは何なんですか。(あてはまるもの全部ぜんぶに〇をつけてください)

1. 自分じぶんひとりで生活せいかつしていくこと
2. 家族かそくがいなくなること (家族かそくが病気びょうきになる、年としをとること)
3. 助けてくれる人たす ひとがいないこと
4. お金かねがなくなること
5. その他た ()

あなたが^す住んでいる（^す住んでいた）グループホームでは、
生活をどこまで^{てつだ}手伝ってもらっているか^{おし}教えてください

16. ^{あさ}朝ごはん、^{ゆう}夕ごはんなどの^{しょくじ}食事について。（○は1つだけつけます）

1. ^{しょくじ}食事のメニュー^{つく}作り・^{ちょうり}調理・^{じゅんび}準備・^{せんぷ}片付けは^{ねが}全部お願いしている
2. ^{てつだ}手伝えることは^{じぶん}自分でやっている

17. ^{じぶん}自分の^へ部屋の^{そうじ}掃除や^{かたづ}片付けについて。（○は1つだけつけます）

1. ^{せんぷ}全部^{ねが}お願いしている
2. ^{とこ}できない^{ところ}所^{てつだ}だけ手伝ってもらっている
3. ^{ぜんぷ}全部^{じぶん}自分でやっている

18. ^{じぶん}自分の^{せんたくもの}洗濯物について。（○は1つだけつけます）

1. ^{せんぷ}全部^{ねが}お願いしている
2. ^{とこ}できない^{ところ}所^{てつだ}だけ手伝ってもらっている
3. ^{ぜんぷ}全部^{じぶん}自分でやっている

19. お給料きゅうりょうの使い方つかかた、貯金ちよきん、おこづかいなどお金かねの管理かんりについて。(○は1つだけつけます)

1. 全部ぜんぶお願いねがしている
2. できないとこ所ところだけ手伝てつだってもらっている
3. 全部ぜんぶ自分じぶんでやっている

20. 病院びょういんへの付き添つきそい、銀行ぎんこうや役所やくしょでの手続てつづきについて。(○は1つだけつけます)

1. 全部ぜんぶお願いねがしている
2. できないとこ所ところだけ手伝てつだってもらっている
3. 全部ぜんぶ自分じぶんでやっている

21. 出かける時で、遊びあそびに行く時いの送り迎とき おくむかえについて。(○は1つだけつけます)

1. 全部ぜんぶお願いねがしている
2. できないとこ所ところだけ手伝てつだってもらっている
3. 全部ぜんぶ自分じぶんでやっている

グループホームの部屋の使い方について、あなたの気持ちを教えてください。

22. お風呂について。(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい
2. みんなと一緒に良いが、ひとりずつ交代で使いたい

23. トイレについて。(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい
2. みんなと一緒に良い

24. 洗面所について。(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい
2. みんなと一緒に良い

25. 食堂やリビング(ご飯を食べたり、みんなと話したりする場所)について。

(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい
2. みんなと一緒に使うほうが良い

26. 家族などの面会室について。(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい
2. みんなと一緒に良い

グループホームでの過ごし方について、あなたの気持ちを教えてください。

27. グループホームに住んでいるみんなで食事をすることや一緒にでかけることについて。

(○は1つだけつけます)

1. 参加したい
2. 毎回、参加したいかしたくないか意見を聞いて欲しい
3. 参加したくない

28. グループホームは、色々な人と一緒に生活するので約束事やルールがあります。

例えば、門限（グループホームに帰らなければいけない時間）・ゴミ出し、掃除当番や

出かける時、お金を使う時など決められたルールを守って生活をします。

約束事やルールを守って生活することにどう思いますか。

(あてはまるもの全部に○をつけてください)

1. 決められた約束やルールは全部守りたい
2. ひとつひとつみんなで話し合っってルールを決めたい
3. 厳しいルールは守りたくない
4. 約束事もルールも必要ないと思う
5. みんなで気持ちよく生活するためにルールは必要だと思う
6. 自分に合った約束やルールを職員と相談しながら決めたい

「^{はたら}いて^い生きて^いきたい^{しょう}障^{しゃ}がい者のための^{せいかつしえん}生活支援について、

^{かれ}彼らが^{のぞ}望む^あグループホームの^{かた}在り方」^{ちようさ}ニーズ調査

グループホームに^す住んだことがない人用の^{ひとよう}回答用紙^{かいとうようし}

アンケートの^{こた}答え方^{かた}について

1. ^{しつもん}質問の内容が^{ないよう}分からない時は、^わ家族や^{とき}職場の人に^{かぞく}聞きながら^{しよくば}答えて^{ひと}ください。^き

2. えんぴつか^かボールペンで^か書いて^かください。

3. ^{こた}答えて^い頂いたことは、^{ひみつ}秘密にして^{だれ}誰にも^し知られないように^します。

^{なまえ}あなたのお名前や^す住んでいるところなど、^しあなただと^き知られることは^き聞きません。

4. アンケートを^か書き^お終わったら、^{ようし}用紙を^{ふうとう}封筒に^い入れたあと^いポストに^い入れて^いください。

^{きって}切手は^は貼らなくて^{だいじようぶ}大丈夫です。

^し締め切りは、**11月15日(水曜日)**^{すいようび}です。

アンケートについての^と問い合わせ先^あ ^{さき}

^{かぶしがいいしゃ}株式会社ライフパス ^{ひろしまけんおのみちしみつぎちようおおまち}〒722-0314 広島県尾道市御調町大町55番地1 ^{ばんち}

^{でんわばんごう}電話番号(0848)77-0220 ^{ばんごう}FAX番号(0848)77-0220

^{たんどう}担当：^{ほそかわ}細川・^{いわい}岩井

グループホームに住んだことがない人用の回答用紙

1. あなたの性別

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

2. あなたの年齢

	歳
--	---

3. あなたの障がいの種類を教えてください。(あてはまるもの全部に○をつけてください)

1.	身体障がい	
2.	知的障がい	
3.	精神障がい (高次脳機能障がい含む)	
4.	発達障がい	
5.	その他 ()

4. あなたの障害者手帳の等級を教えてください。□の中に、番号を記入してください。

※等級は、手帳に書かれている「A・B・C、A1・A2・B1・B2、1・2・3・4」のことです

身体障がい		発達障がい	
知的障がい		その他	
精神障がい			

5. あなたが働いている会社の種類について教えてください。(〇は1つだけつけます)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 就労継続支援A型事業所 | 2. 一般企業 (特例子会社も含む) |
|----------------|--------------------|

6. あなたが1日に働く時間を教えてください。(〇は1つだけつけます)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 4時間30分～6時間 | 2. 6時間30分～8時間 |
|---------------|---------------|

7. 今の会社に入ってから何年働いていますか。□の中に、数字を書いてください。

	ねん 年
--	---------

8. あなたは会社まで、どのようにして行っていますか。(〇は1つだけつけます)

- | |
|------------------|
| 1. 自分ひとりで行く |
| 2. 家族が車でおくってくれる |
| 3. 会社の送迎バスに乗って行く |

9. あなたの1か月のお給料は手取りでいくらですか。(〇は1つだけつけます)

※手取りとは、銀行の通帳に入るお金のことです。お給料から税金などを引いた金額です。

月によって違う方は、一番受け取ることが多い金額をお答えください。

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1. 6万円より少ない・6万円台 | |
| 2. 7万円台・8万円台・9万円台・10万円台・11万円台 | |
| 3. 12万円より多い | 4. わからない |

10. あなたは障害基礎年金をもらっていますか。(〇は1つだけつけます)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. もらっている | 2. もらっていない |
|-----------|------------|

11. 困った時に相談するところはどこですか。(〇は1つだけつけます)

※家族以外に相談できる場所を教えてください

1. 相談するところはない・相談したことがない
2. 地域障害者職業センター
3. 障害者就業・生活支援センター
4. 卒業した学校
5. 市役所・区役所・役場
6. その他(どんな人や場所ですか)

12. 将来の生活について不安に思うことは何ですか。(あてはまるもの全部に〇をつけてください)

1. 自分ひとりで生活していくこと
2. 家族がいなくなる(家族が病気になる、年をとること)
3. 助けてくれる人がいないこと
4. お金なくなる
5. その他()

13. あなたはグループホームについて、どのくらい知っていますか。(〇は1つだけつけます)

1. よく知っている
2. グループホームという名前を聞いたことはある
3. 全く知らない

14. グループホームに住んでいない理由はなんですか。(あてはまるもの全部に○をつけてください)

1. 他^{ほか}の人^{ひと}といっしょに住む^すのが嫌^{いや}だから
2. 家族^{かぞく}と一緒^{いっしょ}に居^いたいから
3. グループホームに入^{はい}るのを待^まっているから
4. グループホームに入^{はい}りたくないから
5. 家族^{かぞく}が反対^{はんたい}するから
6. グループホームのこ^しを知らないから

あなたがグループホームに住む^すとしたら、どこまで手^{てつだ}伝^だって欲^ほしいか教^{おし}えてください

15. 朝^{あさ}ごはん、夕^{ゆう}ごはんなどの食^{しょくじ}事^じについて。(○は1つだけつけます)

1. 食^{しょくじ}事^じのメ^{つく}ニ^{ちようり}ュー^{じゆんび}作^{ぜんぶ}り^{ねが}・調^{ぜんぶ}理^{ねが}・準^{ぜんぶ}備^{ねが}・片^{ぜんぶ}付^{ねが}けは全^{ぜんぶ}部^{ねが}お願^{ねが}いし^{ねが}てい^{ねが}る
2. 手^{てつだ}伝^だえるこ^{じぶん}とは自^{じぶん}分^{ぶん}でや^{じぶん}って^{ぶん}い^{ぶん}る

16. 自^{じぶん}分^{ぶん}の部^へ屋^やの掃^{そうじ}除^{かたづ}けについて。(○は1つだけつけます)

1. 全^{ぜんぶ}部^ほし^ほて欲^ほしい
2. でき^{ところ}ない所^{てつだ}だけ手^ほ伝^ほって欲^ほしい
3. 全^{ぜんぶ}部^{じぶん}自^{ぜんぶ}分^{じぶん}でや^{ぜんぶ}り^{じぶん}たい

17. 自^{じぶん}分^{ぶん}の洗^{せんたくもの}濯^{もの}物^{もの}について。(○は1つだけつけます)

1. 全^{ぜんぶ}部^ほし^ほて欲^ほしい
2. でき^{ところ}ない所^{てつだ}だけ手^ほ伝^ほって欲^ほしい
3. 全^{ぜんぶ}部^{じぶん}自^{ぜんぶ}分^{じぶん}でや^{ぜんぶ}り^{じぶん}たい

18. お給^{きゆうりょう}料^{つか}の使^{かた}い^{ちよきん}方^{かた}、貯^{ちよきん}金^{かた}、おこづかいな^{かね}どお金^{かんり}の管^{かんり}理^りについて。(○は1つだけつけます)

1. 全^{ぜんぶ}部^ほし^ほて欲^ほしい
2. でき^{ところ}ない所^{てつだ}だけ手^ほ伝^ほって欲^ほしい
3. 全^{ぜんぶ}部^{じぶん}自^{ぜんぶ}分^{じぶん}でや^{ぜんぶ}り^{じぶん}たい

19. 病院への付き添い、銀行や役所での手続きについて。(〇は1つだけつけます)

1. 全部して欲しい 2. できない所だけ手伝って欲しい 3. 全部自分でやりたい

20. 出かける時、遊びに行く時の送り迎えについて。(〇は1つだけつけます)

1. 全部して欲しい 2. できない所だけ手伝って欲しい 3. 全部自分でやりたい

グループホームの部屋の使い方について、あなたの気持ちを教えてください。

21. お風呂について。(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい
2. みんなと一緒に良いが、ひとりずつ交代で使いたい

22. トイレについて。(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい 2. みんなと一緒に良い

23. 洗面所について。(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい 2. みんなと一緒に良い

24. 食堂やリビング(ご飯を食べたり、みんなと話したりする場所)について。

(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい 2. みんなと一緒に使う方がいい

25. 家族などとの面会室について。(〇は1つだけつけます)

1. 自分専用、自分だけで使いたい 2. みんなと一緒に良い

グループホームでの過ごし方について、あなたの気持ちを教えてください。

26. グループホームに住んでいるみんなで食事をすることや一緒にでかけることについて。

(○は1つだけつけます)

1. 参加したい
2. 毎回、参加したいかしたくないか意見を聞いて欲しい
3. 参加したくない

27. グループホームは、色々な人と一緒に生活するので約束事やルールがあります。

例えば、門限（グループホームに帰らなければいけない時間）・ゴミ出し、掃除当番や

出かける時、お金を使う時など決められたルールを守って生活をします。

約束事やルールを守って生活することについて。

(あてはまるもの全部に○をつけてください)

1. 決められた約束やルールは全部守りたい
2. ひとつひとつみんなで話し合っでルールを決めたい
3. 厳しいルールは守りたくない
4. 約束事もルールも必要ないと思う
5. みんなで気持ちよく生活するためにルールは必要だと思う
6. 自分に合った約束やルールを職員と相談しながら決めたい

1 はじめに

障害者雇用促進法の1997（平成9）年改正法により知的障害者の雇用の義務化がなされた。それから20年を経て、民間企業等で雇用されている知的障害のある労働者は、短時間労働者を含む実人数で10万人を超えている（平成29年障害者雇用状況の集計結果）。知的障害者の7割程度が親や家族と居住し、以下の3つの活動に代表される生活活動すなわち、食事や排せつ、身だしなみなど「生存的活動」や余暇活動や就労など「社会的活動」、買い物などにおける金銭管理や財産管理など「経済的活動」について家族からの支援を受けて生活していることはこれまで先行研究が指摘しているところである。1)

雇用の進展にともない、知的障害者の急速な高齢化にとまなう就業能力の低下も指摘されてきたところである。2) 3) また、これまで知的障害のある労働者の職業生活を支えてきた家族の高齢化も進みつつある。「親亡き後」の生活の問題は、知的障害のある労働者の生活の質の向上をベースとした生涯キャリアを思考する際に避けては通れない課題である。とりわけ現に知的障害のある労働者を雇用している企業においては切実であり4) 今般「働いて生きていきたい障がい者のための生活支援について、彼らが望むグループホームの在り方ニーズ調査」が障害のある労働者を雇用する企業の連携体である「企業による障がい者雇用連携ネットワーク会」により実施された。上記調査で得られたデータを用いて、「親亡き後」の生活支援に求められることを考察する。

2 分析方法

「働いて生きていきたい障がい者のための生活支援について、彼らが望むグループホームの在り方ニーズ調査」の「ご家族様用調査票」のうち、知的障害のある労働者の生活状況について尋ねた問1とご家族にとって生活支援の負担について尋ねた問2およびグループホームでの生活支援のニーズについて尋ねた問19のデータを用いて、クロス集計とカイ2乗検定（モンテカルロシミュレーション）、多重コレスポネンス分析を行った。分析には統計ソフトIBM SPSS Statistics、JMPを用いた。

なお、コレスポネンス分析はクロス表の行、列合計の反応パターンを重みとする新たな行列を作り、情報を縮約（線形代数学に基づく特異値分解を利用）した座標成分スコアを算出し成分スコアを同時配置することにより関係性を視覚的に見ることが出来る手法である。

3 結果

3-1 家族にとっての生活支援の負担とグループホームでの生活支援のニーズ（問1

と問 19)

クロス集計とカイ 2 乗検定 (モンテカルロシミュレーション) の結果は、すべての項目の組み合わせで $P < 0.05$ で有意であった。多重コレスポンデンス分析は、問 19 のカテゴリ番号 5 (わからない) 除いて分析を行った (図 1)。

図 1 : 家族にとっての生活支援の負担とグループホームでの生活支援のニーズ

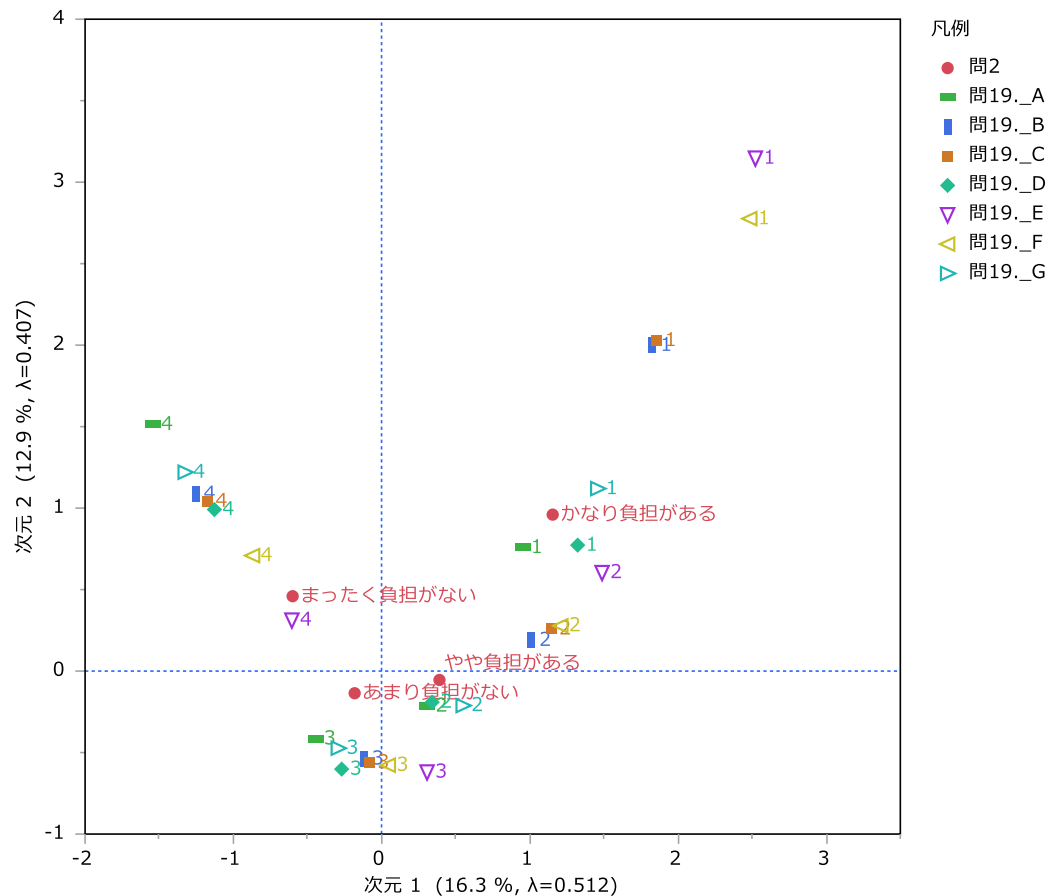


図 1 に示した布置図から、家族にとっての生活支援の負担とグループホームでの生活支援のニーズについて解釈すると『家族にとって生活支援に「まったく負担がない」状況で、グループホームの生活サポートは入居者の自己判断に全て任せ、干渉しない方がよい』と考えている家族が多く、『家族にとって生活支援に「かなり負担がある」状況では、生活サービス費が追加されても全て介助や手助けをして欲しい』と考えている家族が多い、と指摘できる。

家族がおこなっている生活支援は、前述した「生存的活動」や余暇活動や就労など「社会的活動」、買い物などにおける金銭管理や財産管理など「経済的活動」と考えられ、こうした支援に負担を感じていないという状態は、障害のある労働者自身が前述の 3 つの活

動について自立している状態が推測され、自立している場合の家族のニーズとしては「入居者の自己判断に全て任せ、干渉しない方がよい」となろう。一方で前述の3つの活動に代表される生活支援にかなり負担を感じている家族は、前述3つの活動について障害のある労働者支援に支援が必要な状態であることが推測され、このような場合、「生活サービス費が追加されても全て介助や手助けをして欲しい」というニーズがテータ分析から明らかになった。

3-2 家族から見た知的障害のある労働者の生活状況とグループホームでの生活支援のニーズ (問1問19)

クロス集計とカイ2乗検定 (モンテカルロシミュレーション) の結果は、すべての項目の組み合わせで $P < 0.05$ で有意であった。多重コレスpondンス分析は、問19のカテゴリ番号5 (わからない) 除いて分析を行った (図2)。

図2 : 家族から見た知的障害のある労働者の生活状況とグループホームでの生活支援のニーズ

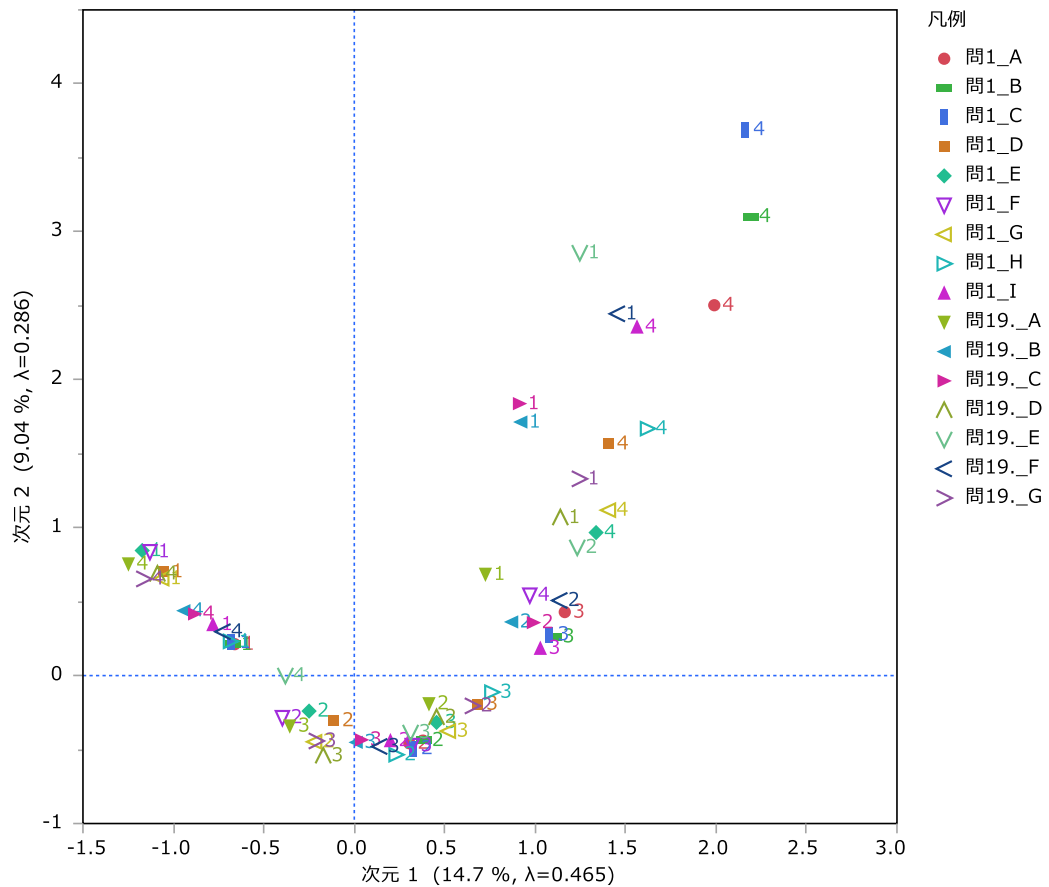


図2に示した布置図から、家族から見た知的障害のある労働者の生活状況とグループホームでの生活支援のニーズについて解釈すると「家族に自分の気持ちや希望を伝えたり、相手の気持ちや言いたいことを理解する」、「家族以外の人に自分の気持ちや希望を伝えたり、相手の気持ちや言いたいことを理解する」、「自分のお金の管理」、「体や心の健康を管理する」、「体調が悪い時に、病院に行ったり決められたように薬を飲む」、「職場や共同生活の規則や規律を守る」といったことを本人が完全に自分でできる状況で、このような状況の場合、「料理」、「個室の掃除や片付け」、「洗濯」、「病院など外出の手助け」などのサポートは入居者の自己判断に任せ干渉しない方がよいとする家族が多い。

一方で、「家族に自分の気持ちや希望を伝えたり、相手の気持ちや言いたいことを理解する」、「家族以外の人に自分の気持ちや希望を伝えたり、相手の気持ちや言いたいことを理解する」、「体や心の健康を管理する、体調が悪い時に、病院に行ったり決められたように薬を飲む」、「1人で外出する」などの場合に全面的に支援や介助を必要とする状況で、このような状況の場合、「個室の掃除や片付け」、「洗濯」、「病院など外出の手助け」などを全て介助や手助けをして欲しいとする家族が多い、といえる。

この結果から、前述の「社会的活動」や「経済的活動」について家族から見て、自立している障害のある労働者の場合、食事や排せつ、身だしなみなど「生存的活動」や「病院など外出の手助け」といった「社会的活動」は「自己判断に任せ干渉しない方がよい」という家族のニーズが見える。一方で、「体や心の健康を管理する、体調が悪い時に病院に行く、決められたように薬を飲む」といった「生存的活動」に家族から見て支援が必要な知的障害のある労働者の場合、やはり「病院など外出の手助け」といった「社会的活動」や「個室の掃除や片付け」、「洗濯」といった「生存的活動」の支援にニーズがデータ分析から明らかになった。

4 おわりに

「働いて生きていきたい障がい者のための生活支援について、彼らが望むグループホームの在り方ニーズ調査」の「ご家族様用調査票」の中から知的障害のある労働者の生活状況について尋ねた問1とご家族にとって生活支援の負担について尋ねた問2およびグループホームでの生活支援のニーズについて尋ねた問19のデータを用いて、知的障害のある労働者の家族の視点からグループホームのサービスのニーズを探索的に調査した。その結果は3に示したように本調査の対象が企業に雇用されている知的障害のある労働者であることから、「生存的活動」の中でも食事や排せつなどの生活基本の支援のいうよりも「体や心の健康を管理する、体調が悪い時に病院に行く、決められたように薬を飲む」といった体調管理などに関する「生存的活動」支援と病院に行くなど「社会的活動」に関する支援のニーズが見えてくる。「家族以外の人に自分の気持ちや希望を伝える、相手の気持ちや言いたいことを理解する」に支援が必要とされる状況は、職場との情報共有や調整といった働き続けるために必要な支援を家族が行っていることも推測される。

企業に雇用されている知的障害のある労働者が家族のもとから地域のグループホームで生活する場合、日常の体調管理や医療機関で適切に診療を受けるための支援や職場と労働者との間に入っての調整や説明などの橋渡しとなる、まさに「社会活動」を続けるための支援ニーズが高くなる。この点については支援する家族のニーズであるだけでなく、雇用している企業側としても福祉サービスに求めたい支援であろう。就労を継続しながら地域でグループホームなどを利用して、これまで築きあげた職業キャリアを生かして、その人らしい生涯キャリア形成を続けるために、生活の場でのソーシャルワークを行う専門職を配置し、利用者の生涯にわたる生活の質の向上を支える仕組みづくりが求められている。

文献

- 1) 河村真千子 (2012) 『きょうだいの文化的・生活実態調査 (日本) の報告』 東京大学大学院経済学研究科 READpp.9-12.
- 2) 植田章(2011) 『知的障害者の加齢と福祉実践の課題—高齢期の暮らしと地域生活支援—』 高菅出版 pp.143.
- 3) 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター(2010) 『障害者の加齢に伴う職業能力の変化に関する実態調査報告書—中高年齢障害者の雇用促進、雇用安定のために—』 pp.118-119.
- 4) 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 (2010) 『障害者の加齢・高齢化に対応した継続雇用の在り方に関する調査研究』 pp.8-9.